

平成20年度活動報告書

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

はじめに

昨今の企業を取り巻く経営環境は、昨年後半に勃発した世界同時不況と金融危機により極めて厳しい状況になっております。

私ども情報サービス産業界もこうした影響を受け、売上が急激に落ち込むなど深刻さを増し、平成20年度は、生き残りを懸けた厳しい年でありました。

この様な中ではありましたが、平成20年度の第1の方針に掲げた「**研修事業体制の確立**」のため、アンケート等によってニーズを的確に把握し、希望の多かった研修科目から、開講して、効率的な運営と、一方車の両輪であるキャリア助成金とを連動して推進して参りました結果、県補助金の受給目標であった20講座200名の受講者を遥かにオーバーし、230人の方に受講頂きました。またNISA独自に会員企業と共催して4月5月の新人を対象とした研修(4講座)を46名、さらにJISA補助金による地域高度IT技術者育成事業として研修2講座を19名受講して頂きましたので、これらを合計しますと平成20年度は295名の方に受講して頂きました。ここに受講企業の皆様には厚く感謝を申し上げます。21年度も引続き実施して参りますので、IT企業の重要な経営資源である人材の育成には、特別のご配慮を賜りますよう、宜しく御願い申し上げます。

第2の方針であった「**新公益法人制度移行**」につきましては、当協会の上部団体であるANIAやJISAの意見を参考にして役員会で検討致しました結果、一般社団法人へ移行するのがベストであるとの結論となり、その方向で進める事に致しました。最終的には、平成21年度は準備の年とし、まず新会計システムを立ち上げ、定款変更、公益目的支出計画書などを準備して、平成22年度総会で承認を頂き平成22年度中に移行する計画です。

第3の方針であった「**コラボレーション活動**」については、活発に実施していますが、より計画的に実施し、1社でも多くの会員の皆様に参加して頂くよう奇数月の役員会の後にコラボ会を開催しておりますので、多くの皆様の参加を宜しく御願い致します。

社団法人 長崎県情報産業協会
会長 石橋 洋志

I 地域情報化の推進活動

長崎県をはじめ、市町村、各種団体等と協力・提携しながら、地域情報化に向けての取組みや施策への提案を行った。また、国内外の情報サービスに関わる情報やデータの収集等、会員企業及び地域情報サービス産業の発展に役立つよう活動した。

I・1 電子自治体関連

(1)「オープンソースベンダーフォーラム長崎(略称:OSVFN)」活動

1) OSVFN 目的・体制等

i) 目的

- ①県のオープンソースシステム(以下 OSS)を OSS 長崎会員(地域 IT 企業)が県内外の自治体等に販売・営業活動
- ②会員における OSS の利用促進、開発環境構築と向上
- ③OSS に関連した技術の研究、市場調査等を通して会員間の連携と交流
- ④会員のシステムのベンダービジネス、システムのインテグレーションビジネス、ソフトの保守・技術サポート、ソフトの教育普及ビジネスを支援。

ii) 組織: (社)長崎県情報産業協会(NISA)内に設置。

幹事会を設け、組織の運営等を管轄し、事務局は幹事企業内に置く。

iii) 会 員: 入会資格は原則として NISA の正・賛助会員。但し、設立目的に同意し積極的に活動できる IT 企業(個人も含む)であれば、入会可。

iv) 会費等: 年会費 2 万円/年(現在は徴収を中断)

v) 設 立: 平成 16 年 6 月 25 日の第 11 回通常総会承認を経て発足。

vi) 幹事長: 中野氏(NDKCOM 専務取締役)

vii) 会員数: 18社

2) 平成 20 年度の活動報告(OSVFN 中野幹事長)

平成 20 年度の OSVFN の活動は、前年に引続き長崎県の OSS 拡販に関連したものが中心であった。

長崎県 OSS の他県庁へのデモが 20 年 8 月で終了。その成果として、昨年度の徳島県に続き、今年度は和歌山県への導入が正式に決定し、今後和歌山県への OSS 導入作業が具体化していく動きとなっている。

i) OSVFN 全体会議 H20-7-23 NDKCOM 会議室

参加 会員 9 社 10 名

長崎県 1 名

NISA 岩永事務局長参加

議題

①長崎県 OSS のデモ状況報告(トリアネット井川取締役)

a. OSS のデモ日程報告

兵庫県庁+市町 2008/06/16、17

和歌山県庁 2008/06/18

鹿児島県庁、市役所 2008/07/16

b. 今後のデモ日程予定(現在は全て完了)

神奈川県庁 2008/08/06

埼玉県庁(2回目) 2008/08/06

仙台市+市町村 2008/08/19

青森県庁+市町村 2008/08/20

山形県庁 2008/08/21

茨城県庁 2008/08/22

② CURL 社の CURL 技術者ブログへの原稿寄稿について

- a.経緯:Curl社から島村理事に対して以下の申し出があった。
- b.内容:Curl社で技術的な内容のブログを10月から始めるので、地場企業の技術者に寄稿をお願いできないか?月に2本程度。各社持ち回りで。謝礼あり。

③決定事項

- ・CURL の研究・習得に役に立つ。
- ・OSVFN として取組む。
- ・月に2回のブログ発信はきついで月に1回にするように交渉する。
- ・取組み方法。
- ・参加できる企業数 4～5 社程度。
- ・謝礼の取扱い 各社に任せる。

ii)CURL 社との打ち合わせ H20-7-30 県庁 情報政策課

参加: CURL 社 2名、会員企業 4社、長崎県庁 2名

打合事項

- ①ブログ掲載サイト <http://codezine.jp>
- ②掲載時期:CURL 社が codezine への掲載契約を行うので、そこに寄稿。
時期は特定しなかったが数ヵ月後。
- ③2社が寄稿を表明した。

原稿寄稿の状況

現在、1社(ドゥアイネット殿)が CURL の開発に関するレポートを寄稿済。

内容は下記を参照。

- Curl で構築する長崎県電子県庁システム(ポータル・スケジューラー)
 - 第1回 部品の拡張とPHP連携 <http://codezine.jp/article/detail/3274>
 - 第2回 UIの向上と帳票 <http://codezine.jp/article/detail/3331>
 - 第3回 RSSリーダーとメッセージャー <http://codezine.jp/article/detail/3470>
- Curl で構築する電子県庁システム(DB メンテナンスツール編)
 - 第1回 概要とユーザーインターフェース <http://codezine.jp/article/detail/3281>
 - 第2回 データ表示パフォーマンスの向上 <http://codezine.jp/article/detail/3406>
 - 第3回 アクセス制御と画面内検索を GUI で実現する
<http://codezine.jp/article/detail/3555>

iii)徳島県の状況

- ・昨年度は長崎県の環境をそのままセットした。
- ・今期は徳島県用のカスタマイズを県内企業に出してきている。
- ・Curl の部分も県内企業に出していくことを考えている。
- ・徳島兼用のカスタマイズを試みたが長崎版からの修正は少ない。
- ・長崎県 OSS に対する評価
デモの反響は大きい。30 ものシステムが稼動しており、データベースはひとつで管理されている。デモも一連のシステムを紹介している。CURL を使用していることの効果も大きい。
 - ①ここまで機能がそろったシステムはない
 - ②操作性がすぐれている
 - ③情報が一元管理されており運用が楽である。
- ・ライセンスは長崎県ライセンスでソースを提供している。
- ・プログラムソースは無償で提供。提供先が自庁内で自由に利用できる

iv)電子県庁デモとQ&A(NISA役員及び会員へ)の実施 H20-9-26(金) 13:50~15:10
 場所:出島交流会館 9F 展示交流室

3)オープンソースの公開状況

i)平成17年10月21日公開分

①年次休暇システム(株式会社ドゥアイネット)

ii)WEB職員録システム(株式会社ドゥアイネット)

③文書保管システム(三菱電機コントロールソフトウェア株式会社)

④統合メインメニュー(株式会社ドゥアイネット)

iii)平成18年4月20日公開分

①電子決済システム(日立ソフトウェアエンジニアリングシステム)

②ネットワーク監視システム(日立ソフトウェアエンジニアリングシステム)

③ながさきミュージアムネットワークシステム(株式会社NDKCOM)

④スケジューラ(株式会社ドゥアイネット)

iv)平成18年12月27日

①民生委員児童委員台帳管理システム(株式会社 PAL構造)

(2)RBC 長崎(Ruby Business Commons)

(RBC 長崎 会長 三海隆宏 氏 考える有限会社)

Ruby の Businessへの適用を目的として、RBC があるが、長崎では、長崎県の指導・支援のもと NISA の下部組織として、RBC 長崎(会長 三海隆宏氏:考える有限会社取締役)がH19-10-26に設立され、H20 年度活動は下記の通り。

現在の会員数: NISA 個人会員13名、NISA 団体会員 11 団体
 一般個人会員 9 名、一般団体会員 1 団体

1)RBC 長崎と Javacomm 長崎の合同イベント、『JR Nagasaki』を開催 H20-5-31(土) 13:00~

長崎出島交流会館 9F

第1部 ライトニングトーク 13:15 ~ 14:15

- ・「こんなアプリを作りたいのですが、いかが?」田崎裕也(富士ソフト SSS)
- ・「すてきな Subversion」木原秀明(不動技研)
- ・「若者に教えていること教えたいこと」角田宏明(長崎情報ビジネス専門学校)
- ・「Ruby で学ぶ Git の使い方」田中康太郎(考える有限会社)
- ・Jruby セクション「JRuby+Java っておもしろい~」村部淳也(有)ランカードコム
- ・Jruby セクション「JRuby+Java っておもしろい~」村部淳也(有)ランカードコム

第2部 ライトニングトーク

- ・「大学のお仕事」堀田倫英(長崎県立大学シーホルト校 情報センター)
- ・「Ruby で学ぶ Git の使い方」田中康太郎(考える有限会社)
- ・「まちづくりとコミュニティ」山本義夫(株)フライトシステムコンサルティング)
- ・「天神 WiFi の今後の動き」杉山隆志(AIP コミュニティー事務局長、(株)フライトシステムコンサルティング)
- ・「体育会系的 ITSS」田代 和記(オフィスメーション(株))

第3部 Java セクション

- ・「Java って簡単だからみんなやろーよ」峰松浩樹(Javacomm 長崎代表、(有)ランカードコム)

第4部 Flex セクション

- ・「Adboe AIR 30 分間クッキング」三海隆宏(RBC長崎会長、考える有限会社)

第5部 パネルディスカッション ~私にとってのコミュニティ~

2) 第3回 RBC 長崎勉強会 H20-7-5(土)10:00～18:00 長崎出島交流会館 2F
**「Ruby Cooking Vol.1～ Ruby で Flex をじっくり煮込んで美味しくいただく！～
 + IT技術者向上講演会」**

第1部 Rails & Flex アプリケーション開発

サーバーサイド Ruby&クライアント Flex(Flash)という組み合わせで、アプリケーションを作成。環境構築や Ruby・Flex についても説明。今回の開発テーマは、AMF！ AMF は圧縮した情報形式(バイナリフォーマット)を使った Flash - サーバー間の通信方式。

この方式を使うと、簡単にサーバー間の通信ができる。Flex(Flash)から Ruby のメソッドが呼び出せるようになったりする。POST や GET に疲れた方に、AMF 通信で一步進んだ Web アプリケーションの技術の習得。

- ・環境構築(角田宏明 長崎情報ビジネス専門学校講師)
- ・Rails プロジェクト開始(田中康太郎 考える有限会社)
- ・Flex アプリケーションの開発プロセス(藤尾真美 考える有限会社)
- ・RubyAMF を使ったアプリケーション開発(三海隆宏 RBC長崎代表)

第2部 「IT技術者向上講演会」

演題「認知心理学から見た賢いエンジニアの仕事術」 15:00 ～ 16:40

特別講師:綿巻徹 長崎県立大学看護栄養学部教授・看護学科学科長・心理学博士

心理学から見たエンジニアの思考、コミュニケーションの向上法について、講演。

思考法、注意、モニタリング、問題解決法、推論など、認知心理学のキーワードを手がかりにして、エンジニアが身につけておくとよい仕事術が、どのようなものであるか、そこから仕事の出来る人がどのように仕事をしているか、仕事の出来る人はどんな頭の使い方をしているか。本講演により、今までよりワンランク上の仕事術を習得。

3) 九州第1回 1000人スピーカ プロジェクト H20-8-9(土)13:00～17:00

「1000speakers 第6回カンファレンス」

場所:佐世保情報産業プラザ

過去5回、東京にて開催されてきた 1000speakers の第6回目を、初の地方開催として実施。

(ゲスト:西尾泰和 株式会社サイボウズ・ラボ ソフトウェアエンジニア)

LL 系

- ・Python を使ってひどいものを作る方法について
- ・Processing+Jruby の初歩
- ・Akelos について

NET 系

- ・フレームワーク支援ツール作成
- ・OpenCOBOL/その実装と実際
- ・Curl に関して
- ・ウェブ 3.0 について など

4)「Before Programming—プログラミングだけがエンジニアの仕事じゃない！」 H20-12-20(土) 13:00

場所:長崎出島交流会館 2F

コンセプト:

「プログラミングのその前は？」というコンセプトで複数のスピーカーに発表してもらうライトニングトークイベントを実施しました。

(ゲスト:羽生章洋 株式会社スターロジック代表取締役社長)

(3) Javacomm 長崎 活動報告 (有限会社ランカードコム 取締役社長 峰松 浩樹氏)

i) 設立宣言 H21-3-8

ii) JR Nagasaki (Java Ruby 長崎) H20-5-31 13:00～18:20 出島交流会館 9F

演題:

- ・はじめに(RBC 長崎と Javacomm 長崎に関して)
- ・第1部 ライトニングトーク
- ・Jruby セクション - 「JRuby+Java っておもしろい～」
- ・第2部 ライトニングトーク
- ・Java セクション - 「Java って簡単だからみんなやろーよ」
- ・Flex セクション - 「Adobe AIR 30 分間クッキング」
- ・パネル・ディスカッション - 私にとってのコミュニティー -

iii) Javacomm 長崎 第1回セミナー H20-8-23(土) 13:00～18:00 出島交流会館 9F

Ruby や Python、PHP など LL 系言語が活発な昨今ですが、Java は JRuby や Jython の実装にも使われており、その VM を通じて色々な言語をつなぐグルー的な役割も担っている。

現在では Java SE 6 がリリースされ、速度的にもかなり改善されており NetBeans、Eclipse 等の大変使いやすい開発環境も利用されている。開発の現場では Seasar2 など使いやすいフレームワークによって、しっかりとしたアプリケーションの構築にも用いられている。

演題:

- ・Java でインストラ(面倒な環境構築を1発でインストール!)
- ・Proce55ing 関連
- ・Tomcat with Comet でチャットアプリ
- ・Java/Swing でシューティングゲーム
- ・いまさら DI コンテナ -Seasar2-
- ・BlazeDS をたしなむ

I・2長崎県高度情報化推進協議会(長崎県)……会長・会員企業・事務局 参加

(1) 第1回 通常総会 同上 グラバーホール B H20-5-22(木) 13:00～13:40

- 1)平成 19 年度決算報告、事業実績報告及び監査報告について
- 2)平成 20 年度予算(案)及び事業計画(案)報告について
- 3)役員改選
- 4)その他

(2) 第1回 講演会 同上 グラバーホール A H20-5-22(木) 14:00～16:00 参加数 72 名

演題 「番組も『地域』もつくる住民ディレクター」～大きく変わる「2011 年」に向けて～

講師 有限会社プリズム 代表取締役 岸本(きしもと) 晃(あきら) 氏

交流会 17:00～ 御食事処 つくし(長崎市出島町 4-3)

(参加希望の方のみ、会費 4,000 円)

(3) 第2回講演会 地域情報化セミナー H20-11-18(火) 長崎県市町村会館 参加者 70名

～安心・安全な地域社会を目指して～

1)演題 「島原市地域児童見守りシステム事業」

講師 島原市 総合政策課 課長 小川 学氏

2)演題 「学生・自治会による地域通過の取組み」

講師 長崎総合科学大学 教授 横山 正人氏

3)演題 「サイバー犯罪の現状と、情報セキュリティ対策について」

講師 長崎県警察本部 調査官 安部 和信 氏

(4) **幹事会・コアメンバー会議**(石橋会長出席)

- 1) **第1回 幹事会** H20-5-22(木) 11:00～12:00 長崎全日空ホテルグラバーヒル 1階ふじ
 - ・平成19年度決算報告、事業実績報告及び監査報告について
 - ・平成20年度予算(案)及び事業計画(案)報告について
 - ・役員改選
 - ・その他
- 2) **第2回 幹事会** H20-11-18(火)13:00～14:00 長崎県市町村会館
 - ・平成20年度 調査研究事業について
 - ・協議会のあり方について
 - ・その他
- 3) **第1回コアメンバー会議** H20-3-18(火)16:30～18:00 交通会館3階会議室
 平成19年度第3回幹事会(H20.2.19)結果に基づき、平成21年度の協議会がどうあるべきかを実質的なメンバーで検討を行い、幹事会へ提案するために開催。
 長崎総合科学大学 横山教授、長崎県情報産業協会 石橋会長、長崎経済同友会 石丸情報化委員長(代理 江頭氏)、長崎新聞社 林田本部長、事務局(長崎県) 島村理事、神崎情報政策課長
 - ・協議会の今後のあり方検討
 - ・今後の活動方向(長期的な事業、特定の企業の利益になる事業は除外)
- 4) **第2回コアメンバー会議** H20-5-1(木) 14:00 第1別館5階 第2会議室
 - ・第1回会議報告
 - ・コアメンバー紹介
 - ・調査研究事業選定委員について
- 5) **第3回コアメンバー会議** H20-7-23(水) 16:00～18:00 県庁第2別館 1-B会議室
 - ・同軸ケーブルによるPLC通信デモ・プレゼンテーション
 - ・調査研究事業の提案、採択検討について
 - ・コアメンバー会議のスケジュール等
- 6) **第4回コアメンバー会議** H20-9-24(水) 15:00～17:00 本館2-A会議室
 - ・調査研究事業の状況報告(五島市)
 五島市企画課 山下 昇 広報係長
 - ・第2回幹事会・地域情報化セミナー日程、式次第
 日程、次第確認
 - ・協議会のあり方について
- 7) **第5回コアメンバー会議** H21-3-2 県庁本館2-A 会議室
 - ・平成21年度幹事会・総会にむけた事業(規約改正等)
 - ・平成20年度 事業計画について
 - ・KIAI 研究会結果報告
 - ・五島市の調査研究事業進捗報告

I・3 NPO法人 長崎県科学産業技術推進機構

(1)「第6回産学官ニーズ対応連環型交流会」

H21-3-19(木) 長崎新聞社文化ホール アストピア

新たな産学官連携と協働やビジネスを発掘し展開する機会として、長崎県新産業技術の創成に向けた講演と、懇談会 開催。講演会 13:30～18:30

(2)三次元映像シミュレーター装置の見学と実習 H21-3-16(月)～H21-3-17(火)

三次元映像技術やコンテンツの技術に関心のある方を対象に、三次元映像を動かす体験や講座実習など開催。出島インキュベーション「D-FLAG」1F 105 号室

<http://www.joho-nagasaki.or.jp/info/relation/seminar/20090302/index.php>

空中散歩、景観散策、機械装置など……三次元映像を動かす体験

講座実習対象:(空中景観、建物内見学、散策など)

- ・ 軍艦島に遊ぶ
- ・ 観光地や施設など
- ・ 航空機やジェットエンジンなど

I・4 その他

(1)「海外ビジネスサポートキャラバン in 長崎」開催

(佐々野主任主事)H21-2-4(水)13:30～17:00

ウェルシティ長崎 2階 西海の間

主催:九州経済産業局、九州経済国際化推進機構、九州知的財産戦略協議会

後援:長崎県、長崎市、日本貿易振興機構長崎貿易情報センター、長崎県中国ビジネスネットワーク
長崎県新産業創造課(長崎県中国ビジネスネットワーク事務局)

今回のキャラバンでは、中国における市場展開(知的財産権や海外高度人材等の戦略的活用)について、リアルタイムな情報を提供。

パネル・ディスカッションでは、「海外高度人材等の戦略的活用について」、産学官のそれぞれの立場から専門家を招き、意見交換を行われた。

今後、中国をはじめとするアジア地域への海外ビジネス展開と、ビジネスチャンスの拡大を図るためには、最新の市場動向の把握や、それらに対応できるグローバル人材の確保は、長崎県のみならず他地域においても必要不可欠。

これから中国などの海外に進出を検討中の企業から、既に進出企業まで、非常に参考となる情報を入手できる絶好の機会。

第1部 海外ビジネス支援制度について

制度説明:「海外ビジネス支援制度等について」

海外ビジネス支援制度(知的財産権、EPA・FTA 等)について

九州経済産業局国際部国際企画調査課

講演:「中国の投資環境等について」

講師 九州大学 アジア総合政策センター 国吉澄夫教授

第2部 パネル・ディスカッション

コーディネーター:異文化教育コンサルタント 鈴木有香氏

パネリスト:九州経済産業局 国際部 部長 木佐貫純也氏、九州大学 国吉澄夫 教授

長崎外国語大学 キャリア支援室 生野耕信氏、

長崎県中国ビジネスネットワーク 会長 服部一弘氏

(2) 平成20年農商工連携セミナー（11/4 開催）の受講企業 H20-11-4(火) 13:30～

17:00 ベストウエスタンプレミアホテル長崎

主催: 中小企業団体中央会

H20 年7月、農林漁業者と中小企業者が有機的に連携をとり、新事業や新商品の開発等に取り組む企業等への支援制度として「農商工連携促進法」が施行。支援対象として

- i) 中小企業者と農林漁業者とが有機的に連携して実施する事業
- ii) 両社の経営資源(技術、知識、ビジネスノウハウなど)を有効活用するもの
- iii) 連携事業により商品、サービスの需要が開拓される見込みのあること
- iv) 中小企業者と農林漁業者の経営を向上させること

(3) H20 年度普及啓発のための下請ガイドライン(情報サービス・ソフトウェア)説明会

H20-10-23 13:10～15:20、出島交流会館、9F

講師 (社) 中小企業診断協会静岡県支部 中小企業診断士 岩崎美紀 氏

Ⅱ 交 流 事 業

Ⅱ・1 海外との交流事業

H20 年度は海外との交流事業は特に無し。

Ⅱ・2 他団体・大学等との交流事業

(1) 第 30 回 全情連 ANIA 北海道大会への参加

参加者: 石橋会長、瀧本副会長、事務局 3 名参加

場 所: 北海道厚生年金会館(札幌市中央区北1条西12丁目)

開催日: H20-6-25(水)～6-26(木)

第 30 回全情連大会は「ANIA北海道大会」として、中村全情連会長の属する北海道情報システム産業協会のご支援によって、札幌市で H20-6-25(水)から 6-26(木)まで開催された。

今回は、30 回目の記念すべき大会であり、時代に即して、「簡素」と「交流」をモットーに手作りの大会となった。恒例となっていた前夜祭は中止された。

地域の情報産業界はそれぞれに多くの課題をかかえ、それらの課題解決は、会員相互の連帯と知恵にあると確信して、「我々が知恵を出す」ことをテーマとして、各県の事例発表に基づいたグループセッションが行われ、「ANIA北海道大会サミット宣言」を採択された。

全国から殆どの加盟団体の参加があり、活発に活動についての討議がなされた。

各団体と親睦を深めながら、参考になる事業を拝聴することができ、人的なネットワークの構築ができた。詳細は下記の通り。

1) 各県事務局連絡会議 H20-6-25(水) 11:00～12:00 黎明の間

2) 平成 20 年度 ANIA 通常総会 H20-6-25(水) 12:00 受付、13:00～13:30 黎明の間

1 号議案 平成 19 年度事業報告

2 号議案 平成 19 年度収支決算報告

3 号議案 平成 20 年度事業計画(案)

4 号議案 平成 20 年度収支予算(案)

5 号議案 理事の選任について

3)北海道大会(式典・表彰) H20-6-25(水) 13:30~14:00 瑞雪の間

主催者挨拶 全国地域情報産業団体連合会 会長 中村 真規 氏
 来賓ご挨拶 経済産業省 商務情報政策局 情報化人材室長 夏目 健夫 氏
 総務省 情報通信政策局 地方情報化推進室長 青山 忠幸 氏

優秀職員表彰

(社)石川県情報産業システム工業会
 (株)ジェイ・エス・エス 代表取締役社長 杉本 昌保 氏
 北国コンピュータ(株) 代表取締役 宋田 春二 氏

優秀技術表彰

北海道情報システム産業協会
 (株)メディア・マジック コンテツ開発部 技術課 課長 越後 智介 氏
 (株)デジック 取締役システム事業本部長 鈴木 尚 氏

4)北海道大会(講演1) H20-6-25(水) 14:00~14:40

テーマ「地域の活性化を目指して ~情報化最前線~」

講師:坂本 春生 氏、(社)北海道ファシリティマネジメント協会 相談役

2005 年日本国際博覧会協会 副会長、(財)流通システム開発センター 会長

5)事例発表会 H20-6-25(水) 15:00~15:40 2 件

・「IT-JV の取組みについて」

北海道情報システム産業協会 (株)デジック取締役事業本部長 鈴木 尚 氏

・「放送を使った地域の活性化」

石川県情報システム工業会 (株)ヨースマ 代表取締役 野口 高志 氏

・「情報化人材の供給について ~京都コンピュータ学院・京都情報大学院の事例」

京都府情報産業協会 京都コンピュータ学院・京都情報大学院
 数学統括教授 上田 治文 氏

6)グループセッション(3グループ) H20-6-25(水) 16:00~17:45

グループ A(玉葉の間)「人材の確保について」

議長:京都府産業協会 会長 長谷川 亘 氏

グループ B(黎明の間)「IT-JV 方式の受注拡大について」

議長:北海道情報システム産業協会 会長 中村真規 氏

グループ C(清流の間)「地方の情報産業としての取組みについて」

議長:石川県情報システム工業会 会長 細野 昭雄 氏

7)北海道大会(講演2) H20-6-25(水) 16:30~17:45

同伴家族向けテーマ「脱パンツ健康法」 ~ストレスに負けないために~講師:丸山 淳士 氏

五輪橋産科婦人科小児科病院 名誉理事長、産婦人科認定医、医学博士

8)懇親パーティー H20-6-25(水) 17:30~受付 18:00~19:30 瑞雪の間

18:00 開会

開会挨拶 北海道情報システム産業協会 副会長 平島 孝敏 氏

ITサミット宣言 全国地域情報産業団体連合会 会長 中村 真規 氏

来賓ご祝辞 北海道知事 高橋はるみ 氏

札幌市 副市長 中田 博幸 氏

乾 杯 北海道経済産業局 地域経済部長 森本 英雄 氏

中締め 全国地域情報産業団体連合会 副会長 平石 勝之 氏

(福岡県情報サービス産業協会 会長)

9)エクスカージョン H20-6-26(木) 8:00~16:00

札幌市内観光、札幌場外市場、ノースパーク、ジギスカンパーティー

10) 第 30 回全情連大会(ANIA 北海道大会)IT サミット 共同声明

全国21都道府県の情報産業団体が北海道札幌市に集まり、地方情報産業の現状を詳しく分析し、意欲的意見交換を行った結果、本日、日本の情報産業のさらなる発展のために、共同声明を発する。

- ①我が国におけるソフトウェア技術者の重要性がますます増大している中、昨今の、作業環境や稼働時間などについての誤解や初等・中等教育における対応の遅延等は、若者たちのソフトウェア業界への参入意欲を阻害し、技術立国日本の産業基盤を損なうおそれのある重要な問題である。我々は、このような現状を改善するために、ソフトウェア技術者の社会に対する貢献の実態などを正確に世間に伝え、そのプレゼンスを向上させるために、「ソフトウェア技術者人気向上キャンペーン」など各種活動を積極的に行う。
- ②地方における下請け構造改善のため、各協会の協力のもと**ソフトウェアジョイントベンチャー開発手法**である「IT-JV方式」の研究・実践を積極的に推進し、新たな受注請負構造の創造を目指す。
- ③地方情報産業の生き残りのためには、地域経済との結びつきのさらなる強化が重要である。我々地方情報産業界へ多大な影響が予想される**SaaS等**についてその問題点を分析し、適切な対応策を講ずるため、各行政機関等関連組織と協力して調査・研究を行う。

(2) ANIA 理事会

1) 第1回理事会(4月)H20-4-15(火)14:00~17:30、石橋会長出席

毎日新聞大阪本社 毎日インテシオF 会議室、理事総数 14 名、本人出席8名、代理出席4名、平成 19 年度事業報告(案)、平成 19 年度収支決算(案)、平成 20 年度事業計画(案) 平成 20 年度収支予算(案)

6 月総会・第 30 回全情連大会 ANIA 北海道大会(札幌大会)開催について
報告事項

- i) APPLC(財団法人全国地域情報化協会:総務省関係)人事について
- ii) 表彰について

- ・情報交流事業では事務局から地方の情報産業にとって必要な情報を提供するとともに、各県の事例や状況報告を活発に行う。また、事務局長連絡会議の回数を増やし、情報交換を活発化。
- ・課題解決事業ではIT 技術者としての魅力を高める活動を行う。また、人材確保の取組みとして各協会で行っている採用事業などを共同で行うなどを検討する。

2) 第 2 回理事会 H20-6-5(金)13:25~14:50、愛知県情報サービス産業協会 会議室

理事・監事総数 14 名。本人出席3名、代理出席4名、委任状5

- ・役員選任について、本年6月が理事改選期であり、理事推薦者名簿(案)で決定。
- ・表彰規定および大会表彰者の決定。
- ・北海道大会の内容を承認。

3) 第 3 回理事会 H20-6-25(水)13:25~13:30 北海道厚生年金会館 黎明の間

議事 正副会長の選任

前年度同様の体制で良いとの意見が多数を占め、中村会長(北海道)、薄木副会長(青森)、内海副会長(広島)、平石副会長(福岡)が選任された。

4) 第4回理事会 H20-10-21(火)または 28(火) 場所:東京

経済産業省主催「地域経済 IT パートナー全国大会」の開催。(現時点で開催日は未確定)事務局局長連絡会議も同時開催。

5)第5回 ANIA 理事会(2/5)報告と検討(石橋会長報告)

審議事項:MM 総研発行のM&Dレポートの抜粋版をMLで定期的に配布されるが内容がわからない。詳細が必要であれば、雑誌を購入する必要がある。年間購読料:96,000 円(税別)の2割引(76,800 円)購入できる。

i) ANIA 活動方針について

ii) 報告事項・その他

一般社団法人化について

(3)新公益法人制度説明会／情報交換会 H20-9-16(火) 13:30－18:30

東海大学校友会館「阿蘇の間」(霞が関ビル33F)TEL 03-3581-0121

第1部「IT コーディネータの活用について」(13:35－14:05)

特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会

第2部「新公益法人制度説明会」(14:15－16:45)

JISA 総務部主任調査役 高松康徳(内閣府新公益法人制度普及・啓発員)

第3部「情報交換会」(17:00－18:30)

(4)九州地区情報産業協会等会長会議

1)第1回 H20-7-29(火) 15:00～17:00、ホテルセンターザ博多、会長・事務局長出席

①情報交換・協議(15:00～15:50)

- ・各県協会・組合の活動状況等
- ・会議の名称及び今後の計画

②講 話(16:00～16:50)

- ・テーマ「経済産業省における情報施策」

九州経済産業局地域経済部 情報政策課課長 植木 謙治様

③懇親会 同ホテル(17:00～19:00)

2)第2回 H21-1-27(火) 9:45～11:45

九州経済産業局(福岡合同庁舎 本館6階 第2・3会議室)

①講 話(10:00～10:50)

テーマ「(仮)九州経済産業局の施策と九州管内のIT産業の動向について」

講師 九州経済産業局情報政策課 課長 植木謙治 様

②情報交換(10:50～11:45)

- i) 各県における受注状況及び雇用状況等について
- ii) 各県協会・組合の活動状況等について
- iii) その他

(5)地域イノベーションパートナーシップ全国大会 H20-11-26(月)15:00～18:30

グランドプリンスホテル赤坂 新館 2F クリスタハレス

大会趣旨

「地域イノベーションパートナーシップ」は地域のサービスやものづくりの中小企業におけるIT 利活用によるイノベーションを促進し、地域経済の担い手としての自律的成長を牽引する基盤を構築することを目的としている。

具体的には、企業規模、業種、地域性など多様な環境にある地域企業の実態に即したきめ細やかなIT化(ITを軸とする企業経営、ビジネスモデル、企業間連携等のイノベーション)を持続的に推進し得るよう、広域地域経済圏を単位として、地域のITユーザー(サービス業、製造業)との地域のITベンダーの連携強化(パートナーシップ)、その前提としてのIT供給力強化を図る地域主導型の仕組みである。

この仕組みを構築するためのキックオフとして、各地の主要な IT ユーザーと IT ベンダーが一堂に会する全国大会。また、地域イノベーションパートナーシップ間の交流・連携の機会として活用。

大会次第

第1部 15:00～17:00

15:00～15:05	開会挨拶	経済産業大臣	二階俊博氏
15:05～15:10	共催挨拶	全国中小企業団体中央会会長	佐伯 昭雄氏
15:10～15:20	趣旨説明	経済産業省商務情報政策局長	近藤 賢二氏
15:20～16:20	連携事例の紹介(5事例)		

①「東北 IT クラスター・イニシアティブ(TIC)の活動と今後の展開」(東北地域)

東北大名誉教授 野口 正一氏

TIC は、新しい発想で東北の IT ベンダーの売上を全国の2%から8%程度に引き上げるなどを目的に2006年5月、3年間の時限期間を設けて設立された、宮城、福島及び山形の3県の地域 IT ベンダー約50社による連携組織。今回は、先進的な TIC の創設経緯や3年間の活動で得られた成果に触れるとともに、現在休止中の TIC の今後の活動の方向性を内容を紹介。

②「官公需適格組合認定の取得に係わる困難とメリット」(中部地域)

中部 IT 共同組合理事 鈴木 裕紀氏

この組合は、閑散期と繁忙期をネットで相互補完することを目的に、2001年に設立。愛知、岐阜及び三重の3県の IT ベンダー130社による連携組織。活動の過程で、業界課題の根幹である人事制度(採用・教育・評価)の強化施策を追加するほか、昨年度は、地方自治体等の共同受注を担うため、官公需適格組合の認可をうけ成果を上げている。

③「インターンシップ」を活用した人材確保連携」(近畿地域)

関西電子情報産業共同組合専務理事 青木 隆夫氏

この組合は、関西地域の IT ベンダー約90社が参加する組合。地域 IT ベンダーのための人材育成やビジネスリンク(事業連携)を実施。インターンシップで、学生のニーズに対応した多彩なプログラム内容や高いインターンシップ経験者の就職率を維持する取組み。

④「IT 経営応援隊を活用した地域 IT ベンダーとユーザーの連携」(中国地域)

IT 経営研究所 所長 河野 亘氏

平成16年度にスタートした IT 経営応援隊では、全国9つの地域において、中小企業の IT 経営実践を支援しているが、その中で、地域 IT ベンダーや地域金融機関など、地域の支援機関と有機的に連携し、実績を上げている。

⑤「組込みソフトの高度化を目指した地域連携と地域間連携の期待」(九州地域)

九州地域組込みシステム協議会 幹事 芦原 秀一氏

この協議会は、2007年設立し、地域に拠点を持つ大手支社と地 IT ベンダー約50社を含む産学官からなる約280社の会員が、人材育成、共同開発、販路開拓などを目的。

九州に自動車などの製造メーカーが拠点を築くなかで、そのニーズに対応して組んできた関西や中部など、他の地域との連携への展望。

・関連支援施策の紹介

①経済産業省による支援	経済産業省 商務情報政策局審議官	木村 雅昭氏
②(独)中小企業基盤整備機構による支援	理事	横田 直輝氏
③(株)日本政策金融公庫による支援	常務取締役	村瀬 卓男氏

第2部 17:00～18:30

・意見交換会

①代表挨拶	日本商工会議所 専務理事	中村 利雄氏
-------	--------------	--------

②来賓挨拶 経済産業副大臣 高市 早苗氏
 ③来賓挨拶 (株)商工組合中央金庫 代表取締役専務 法師人 稔氏

主催:経済産業省

共催:(独)情報処理推進機構、(独)中小企業基盤整備機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会、特定 NPOITコーディネータ協会、(社)組込みシステム技術協会、(社)コンピュータソフトウェア協会、(社)情報サービス産業協会、全国地域情報産業団体連合会、(財)全国中小企業情報化促進センター、(社)中小企業診断協会、(社)日本コンピュータシステム販売店協会(NIC)

後援:(株)日本政策金融公庫、(株)商工組合中央金庫、(株)日刊工業新聞社、(株)日経 BP 社、等

趣旨

今後、地域の IT ユーザーと IT ベンダーの連携を図る「地域イノベーションパートナーシップ」を広域地域経済圏単位で構築していくためのキックオフとして、各地の主要な IT ユーザーと IT ベンダーが一堂に会する全国大会の開催。「地域イノベーションパートナーシップ」間の交流・連携の機会として活用する。

参加メンバー

趣旨に賛同する全国各地の IT ベンダー及び IT ベンダーほかで構成する組織体(約 300 名)
IT経営応援隊、各地域IT経営応援隊等に関わるユーザー企業及び組織体(約200名)

基本的コンセプト

地域経済を活性化し、その自立的発展を実現していくためには、地域経済の担い手である地域の中堅・中小企業(サービス、ものづくり)の IT 利活用を促進し、地域全体として、生産性向上・成長を牽引する産業基盤の整備を図る。

具体的には、企業規模、業種、地域性など多様な環境にある地域企業の実態に即したきめ細やかな IT 化(IT を軸とする企業経営、ビジネスモデル、企業間連携等のイノベーション)を持続的に推進し得るよう、広域地域経済圏をベースとして、地域の IT ユーザー(サービス業、製造業)地域 IT ベンダーの連携強化(パートナーシップ)、その前提としての地域の IT 供給力の強化を図る地域主導の仕組みを「地域イノベーションパートナーシップ」として全国展開する。

施策の枠組み

これまでの広域地域経済圏をベースとして、IT 経営応援隊活動に取り組んできた地域の中堅・中小企業の IT リテラシーの向上・IT 利活用支援(=地域 IT 需要力の強化)に加え、

- ◆地域ベンダーの競争力強化、IT ベンダ間の連携(J/V、コンソーシアムによる共同受注、販路開拓、技術開発、人材確保・育成)
- ◆地域 IT ユーザーと IT ベンダーの連携(情報交流、ビジネスマッチング)の取組みを支援・加速化する。

このため、各地域経済圏毎に、経済産業局及び IT 経営応援隊が中心になり、地域 IT ユーザーと地域 IT ベンダーの連携・交流・協力の場を「地域イノベーションパートナーシップ」として構築する。

- ◆経産省が、商工会議所、地方自治体の協力も得つつ、連携(人材育成、技術、開発等)、経営者研修、成功事例の収集・普及等を支援する。
- ◆また、サービス生産性協議会の成果もこの場を活用し、地域展開を行い、他地域産業の担い手であるサービス産業のイノベーションを加速する。

(6)「地域イノベーションパートナーシップ 九州大会」 H21-1-26(月) 14:00~18:30 博多都ホテル
 ~多様な「連携」を軸として、ビジネスチャンス、地域活性化へ!!~

主催:九州経済産業局、九州 IT 経営応援隊、

後援:(社)情報サービス産業協会 九州・沖縄支部、各県(福岡・長崎・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)の情報産業協会、北九州情報サービス産業振興協会、(社)九州経済連合会、(株)日本

政策金融公庫福岡支店、(独)中小企業基盤整備機構九州支部、九州地域組込みシステム協議会(ES-Kyushu)、NPO 法人 IT コーディネータ協会

第1部 基調講演、事例紹介、支援施策の紹介 14:00～16:50

①開会挨拶 14:00～14:10

九州経済産業局長 橋高 公久 氏

九州地域イノベーションパートナーシップ準備協議会 代表 平石 勝之 氏

②基調講演 14:10～15:10

「IT を活用した、商店街とカード・物流・鉄道業界との連携、さらにエコ推進事業への進化発展

講師:樋爪 保 氏 合同会社きょうと情報カードシステム総務委員長

(四条繁栄介商店街振興組合 理事、奥村地所(株) 代表取締役)

クレジットカード一括処理から始まり、宅配便のデータ一括処理、ネット通販を事業展開。

さらに、鉄道業界との連携事業からエコ推進事業へと進化。

③連携事例の紹介 15:20～16:35

i)「北海道 IT イノベーション戦略としての取組み」

(社)北海道 IT 推進協会 専務理事 下館 繁良 氏

ii)「近畿における人材をキーワードとした事業連携事例」

関西電子情報産業共同組合 専務理事 青木隆夫 氏

iii)「活性化する九州の組込みシステムへの取組み ～ES-Kyushu と九州の活動～」

九州地域組込みシステム協議会 幹事 芦原 秀一 氏

④支援施策の紹介 16:35～16:50

経済産業省商務情報政策局 情報化人材室長 夏目 建夫 氏

第2部 情報交換会 17:00～18:30 参加者:80名

(7)長崎県自動車関連産業振興協議会専門部会 H20-7-29(火)14:30～ サンプルエール

長崎県自動車関連産業振興協議会

下記部会設立(検討)

①自動化・省力化部会(自動化・省力化ラインの設計、製作、施工)

②治工具部会(治工具の設計、製作)

③組込みソフト部会

(8)JISA九州・沖縄支部会(福岡) H20-11-27(木) 14:00～18:30 石橋会長出席

ホテルニューオータニ博多「すいせんの間」、懇親会「羽衣・末広の間」

1)支部長挨拶 鎮西 正直氏

2)来賓 挨拶 情報サービス産業協会 副会長 太田 清史 様

3)経済産業省における情報政策について

経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課産業省 九州経済産業局 課長補佐

平林 純一氏

4)JISA 本部報告 情報サービス産業協会 副会長・専務理事 河野 憲裕

氏

5)「IT コーディネータ制度」紹介 NPO 法人 IT コーディネータ協会 専務理事 下田 邦典 氏

6)講演 テーマ:「不祥事多発で問われる企業の健全性

～コンプライアンス経営による信頼性という絶対的な競争優位～

講 師:日本マネジメント総合研究所

理事長

戸村 智憲 様

7)交流会 17:00～18:30 羽衣・末広の間

(9)(社)福岡県情報サービス産業協会との交流

会長 平石氏と当石橋会長との緊密な連携による共通問題の解決。

(10) 山口県情報産業協会との交流 会長 笠原宏文氏(山口菱洋システム社長) 来訪

長崎県警の要人警備のための配置システムの入札で受注できた。大分に続いて九州で2件目山口県情報産業協会の会費徴収基準を入手した。

事務局は、山口菱洋システムの女性社員が兼務で15~20万円/月協会から支給し、不足分は会社から支払っている。本来、前金子会長が後1年予定であったが、急に引き継いだ。正年会費(会社の従業員数で決定)

- ①5人以下 30,000円、②10人以下 60,000円、③20人以下 108,000円
 - ④30人以下 144,000円、⑤50人以下 168,000円、⑥90人以下 204,000円
 - ⑦150人以下 240,000円、⑧200人以下 264,000円、⑨200人超 288,000円
- 賛助会員(業種業態、従業員規模等は不問)
1社当たり、一口30,000円(何口でも可)
入会金:正会員 50,000円、賛助会員 無料

(11) 長野市ソフト産業協議会との交流 H21-2-26(木) 長崎県庁システム視察後の交流会 (長野市:4名) 会長 北村正博氏(株システックス代表取締役社長)(長野商工会議所副会頭)

副会長 青柳和男氏(株ケイケンシステム代表取締役社長)
賛助会員 塚田博信氏(長野商工会議所 中小企業相談所長兼指導部長(経営指導員))
事務局員 斉藤 弘氏(長野市産業振興部商工振興課工業振興担当主査)
TEL:026-224-8343 FAX:026-224-5078 E-mail:softkyo@mx1.avis.ne.jp
E-mail:shoukou@city.nagano.nagano.jp
(長崎県) 島村理事、今富係長(電子県庁推進班)他
(NISA) 石橋会長、中野幹事長(NDKCOM)、井川取締役(トウアイネット)、NISA 事務局

(12) 総合科学大学 情報学部 公開講演

1) 21年度 長崎総合科学大学 大学院 新技術創生研究所 公開講演会

H21-1-30(金) 13:00~17:45 平安閣サンプリエール 5階「エトワール」

主催:長崎総合科学大学大学院 新技術創成研究所

先端的医療・創薬の開発に向けた細胞・生体機能等シミュレーション研究会

共催:長崎総合科学大学 産官学連携センター

後援:長崎県、長崎市、長崎県産業振興財団、長崎県薬剤師会、中小機構九州支部、長崎TLO、

NPOサンスイ、報道機関

「脳高次機能に関する創薬の現状と将来 ~シミュレーションの活用に向けて~」

開会挨拶 長崎総合科学大学新技術創成研究所長 山邊 時雄

①基調講演 「創薬の現状と将来」

杉浦 幸雄 氏 (同志社女子大学 薬学部医療薬学科 教授 元日本薬学会会長)

②特別講演 「計算科学手法による医薬品分子設計 ~インシリコンドラッグデザイン~」

北浦 和夫 氏 (京都大学 大学院薬学研究科 教授)

③特別講演 「アルツハイマー病治療薬の夢を追って」 杉本 八郎 氏 (京都大学大学院薬学研究科 教授)

④特別講演 「抗体医薬品の現状と将来展望」 前田 雅弘 氏 (株式会社免疫生物研究所 取締役 製造開発部長)

⑤特別講演 「血液脳関門(BBB)とBBBキット」 丹羽 正美 氏 (ファーマコセル株式会社 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科薬理学 教授)

⑥特別講演 「アルツハイマー病の画像診断薬剤の開発」 中山 守雄 氏 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科生命薬科学 教授)

閉会挨拶:長崎総合科学大学 工学部電気電子工学科医療電子コース 任教授 谷山紘太郎

2)工学部電気電子工学科 公開講座 「放送の未来」 H20-11-8(土) 14:00～16:30

長崎市立図書館 多目的ホール

主催:長崎総合科学大学 工学部 電気電子工学科

後援:NHK長崎放送局、NBC 長崎放送、KTN テレビ長崎、NCC 長崎文化放送、NIB 長崎国際テレビ

①基調講演「放送の未来を創る—超高感度HARP(ハーブ)撮像管の発明と応用、今思うこと—

NHK放送技術研究所 前所長、工学博士 谷岡 健吉 氏

②パネル・ディスカッション「放送の未来と未来の文化」

パネリスト:鈴木 浩 氏 (NHK長崎放送局 技術部チーフ・エンジニア)

藤原 正義 氏 (NBC 長崎放送(株) 取締役技術局長)

山本 正興 氏 (KTN(株)テレビ長崎 取締役制作センター長)

船原 秀夫 氏 (NCC 長崎文化放送(株) 技術局次長兼技術部長)

小林 裕之 氏 (NIB(株)長崎国際テレビ 業務局次長兼編成部長)

谷岡 健吉 氏 (NHK放送技術研究所 前所長)

司 会: 松井 誠 (長崎総合科学大学工学部電気電子工学科 教授)

3)情報学部知能・経営情報学科 公開講座 H20-10-17(金) 18:00～20:00 長崎美術館

「情報デザインの目指すもの」

①基調講演:「デジタルコンテンツ教育」 九州大学大学院芸術工学研究院教授 源田 悦夫 氏

②講演:「人間・技術・情報」 情報学部知能情報学科教授瀧山龍三 氏

③講演:「情報デザインの実践」 情報学部知能情報学科 講師 崔 智英<チェ ジョン> 氏

司会:情報学部知能情報学科教授 池末純一氏

長崎総合科学大学 情報学部 (Tel 095-838-5181)

<http://www.it.nias.ac.jp/news/2008/080801.pdf>

4)長崎総合科学大学 大学院新技術創成研究所 公開講座 H20-12-20(木) 13:30～17:00

出島交流会館2階研修室

主 催: 先端的医療・創薬の開発に向けた細胞・生体機能等シミュレーション研究会、長崎総合科学大学大学院新技術創成研究所

後援:長崎県、長崎市、長崎県産業振興財団、長崎TLO、NPOサンスイ機構、長崎県医師会、中小企業基盤整備機構九州支部

開会挨拶 長崎総合科学大学 大学院新技術創成研究所所長 山邊時雄 氏

講演:「デジタルヒューマンと医学教材の未来」 サイエンスライター 原島広至 氏

講演:「感覚器デジタルヒューマンの3D 実演と活用」

九州大学大学院 芸術工学研究院教授竹田 仰 氏

講演:「仮想心臓のモデリング～不整脈シミュレーションから電子カルテ・コンテンツに向けて～」

国立循環器病センター研究所 研究機器管理室長 中沢一雄 氏

講演:「人間中心設計のためのデジタルヒューマンモデル」

(独)産業技術総合研究所 デジタルヒューマン研究センター 副センター長 持丸 正明 氏

閉会挨拶 (株)長崎 TLO 代表 谷山紘太郎 氏

5)長崎総合科学大学大学院新技術創成研究所 H21-2-28(土)13:00～17:00

長崎総合科学大学シーサイドキャンパス 人間環境学部 1階211講義室

第 6 回学術フロンティアセンターシンポジウム「組込みソフトの現状と将来」～次世代自動車と医療への応用にむけて～Nisa も後援している。主催 総合科学大学院、長崎県

参加者: 不動技研(浜本理事)・システムファイブ(佐藤理事)・LSI(岡理事)、事務局

開会挨拶	13:00～13:10	長崎総合科学大学 学長 林 一馬氏
来賓挨拶	13:10～13:20	長崎県産業労働部 理事 上村 昌博氏
基調講演	13:20～14:10	「自動車用組込みソフトウェア人材育成と品質」 トヨタ自動車(株) BR 制御ソフトウェア開発室 室長 林 和彦氏
招待講演	14:10～14:45	「組込みソフトウェア産業の実態と技術者育成への地域の取組み」 (独)情報処理機構 SEC 組込み系プロジェクトサブリーダー 田丸喜一郎氏
招待講演	14:45～15:20	「東海大学の組込み技術教育と人材育成戦略について」 東海大学専門職大学院 組込み技術研究科 教授 大原 茂之氏
特別講演	15:35～16:10	「組込みシステムの高機能化と品質を支えるシミュレーション技術」 dSPASE Japan(株) 代表取締役社長 有馬 仁志氏
研究発表	16:10～16:30	「長崎総合科学大学情報学部における組込みソフト教育」 長崎総合科学大学情報学部知能情報学科 准教授 下島 真氏
研究発表	16:30～16:50	「組込み技術を使った医療デバイスの開発と遠隔医療システム」 長崎総合科学大学新技術創成研究所 教授 田中 義人氏
閉会挨拶	16:50～17:00	長崎総合科学大学新技術創成研究所 所長 山邊 時雄氏

II・3 通常総会・講演会・交流会

(1) 第 15 回通常総会 H20-6-23(月) 16:30～17:3 ホテル セントヒル長崎 3F「紫陽花」

1) 出席会員数 正会員総数 31 名、委任状 19 名、合計 50 名(総正会員 59 社)

2) 議 題

- ① 第 1 号議案 議事録署名人の選任
- ② 第 2 号議案 平成 19 度 活動報告並びに決算・監査報告
- ③ 第 3 号議案 平成 20 度 事業計画並びに収支予算
- ④ 第 4 号議案 定款変更について
- ⑤ 第 5 号議案 任期満了に伴う役員を選任について
- ⑥ 第 6 号議案 その他の案件

(2) 第 15 回通常総会 講演会 H20-6-23(月) 15:00～16:00 ホテル セントヒル長崎 3F「紫陽花」

① 演題「地球環境にやさしい IBM の Project Big Green への取組み」

② 講師: 日本アイ・ビー・エム株式会社 システム製品事業

ビジネス・システム 営業担当部長 須崎 一成(すさき いっせい) 氏

③ 聴講者: 62 名(会員 54 名+来賓 8 名)

(3) 新年度産学官交流会 H20-6-23(月) 15:00～16:00 ホテル セントヒル長崎 2F「妙見」

参加者: 総数 81 名(会員 53 名+来賓 28 名)

(4) 新春講演会 H21-1-22 日(木) 16:00～17:30 ホテル セントヒル長崎 3F「紫陽花」

① 演題: 「NECグループにおけるユニバーサルデザイン戦略」

～ユニバーサルデザインによる商品力強化とビジネス拡大について～

② 講師: シニアエキスパート 永木 康人(ながき やすひと) 氏

NECマーケティング本部ユニバーサルデザイン・プラント戦略室

③ 参加者: 総数 65 名(会員 53 名+来賓 12 名)

(5) 新年賀詞交流会 H21-1-22 日(木) 18:00～20:00 ホテル セントヒル長崎 3F「妙見」

参加者: 総数 78 名(会員 54 名+来賓 24 名)

II・4セミナー・説明会

(1)講演会「ベンチャー魂」 H20-8-1 16:00～17:30 メルカつきまち5階ホール 200名(先着順)

主催:長崎市産業情報支援センター、後援:NISA

演題:「ベンチャー魂」

講師:西 和彦氏(アスキー創業者・元マイクロソフト取締役 新技術担当福社長)

現在:須磨学園学園長、尚美学園大学芸術情報学部大学院教授、(株)デジタルドメイン 代表取締役社長、博士(情報学)

(2)AutoCAD セミナー H20-7/6(日),13(日),20(日),27(日)の4日間 9:00～16:00

簡単な建築図面の作成を通して、基本的操作法を習得する。

実施場所:長崎県立長崎高等技術専門校(管理棟3階 建設設計施工科 CAD室)

対象者:在職者等で Auto CAD の基本操作法を身に付けたい方

定員:10名(希望者多数の場合は抽選)

受講料:1,000円(別途テキスト代3,675円が必要)

テキスト:基礎から学ぶ Auto CAD2005 コマンド編 (出版社 ソフトバンククリエイティブ)

キャリア助成金が適用されるが休日なので 振替休日を取るか、休日手当てをつける必要があります。

(3)アジア地域からの外国人社員の受入・活用のポイント H20-8-8(金)

セミナー: 13:00～15:00

個別診断会:15:00分～17:50

会場:長崎市立図書館 1階 多目的ホール(長崎市興善町1-1)

(5)トヨタ自動車九州株によるセミナー

H21-3-27(金)16:10～17:30、ホテルニュー長崎 3階「鳳凰閣」

主催 長崎県自動車関連産業振興協議会(会長 西 亮)講演者 トヨタ自動車九州株 特別顧問 雨澤 政材 氏(本社:福岡県宮若市)演題「厳しい経済情勢における今後の自動車産業の動きと地場企業の参入に向けた取組みについて」(仮題)

長崎県自動車関連産業振興協議会事務局 長崎県産業労働部産業政策課 担当:大安、梶原

(6)第6回産学官ニース対応連環型交流会

H21-3-19(木)13:30～17:00 長崎新聞社文化ホール

一:長崎県新産業技術の創成に向けて:一 NPO サンスイ機構 理事長 山邊 時雄 氏

主催者(共催)

[産];NPO長崎県科学産業技術推進機構(略称 NPO サンスイ機構)

[学];長崎県における産学官連携に関する大学等間ネットワーク

[官];産学官連携ビジネス化支援センター

12:30 受付開始1

3:30 開会 開会挨拶 山邊時雄

13:40 来賓挨拶

13:50 講演一① 演題:「九州工業大学における産学連携の具体例」

九州工業大学 先端金型研究センター長 教授 鈴木 裕 氏

14:50 講演一② 演題:「産業振興政策に於ける中小企業の人材育成について」

九州経済産業局 産業部中小企業課 課長 松田 一也 氏

16:00 ビジネス連携を求めて マックスコーポレーション(株)

16:25 人材養成事業の展開について 長崎県産業労働部産業人材課

16:50 新現役の活用と展開について NPOながさき

17:15 高齢者生活支援研究会の活動 高齢者生活支援研究会

17:40 人材育成事業報告

NPOサンスイ機構

18:20 閉会挨拶

Ⅱ・5コラボ事業

懇親を通して、会員間交流が進んで、ビジネスのコラボレーションが進むことを図りながら下記の通り開催した。

(1)「コラボ会」・「拡大コラボ会」の開催

- 1)第1回 H20-8-28(木)18:30～20:00 役員会 「拡大コラボ会」《銀鍋》
- 2)第2回 H20-12-11(木)18:00～20:00 役員会 「拡大コラボ会」《銀鍋4F 酒庵》
- 3)第3回 H21-3-27(金)18:00～20:00 役員会 「拡大コラボ会」《ゑびす屋 浜町店》

(2)ビジネスコラボ

エンジニアの企業間協力:今年度は4社から要請があり、会員に情報を流し、成立した。

Ⅲ 研修事業

Ⅲ・1 長崎県補助金による研修事業

(株)長崎ソフトウェアセンターの解散により、地場で研修ができなくなり、長崎県商工労働部において、当協会が研修事業を運営することを条件に、補助金を受ける承認を頂き、長崎県立長崎高等技術専門学校の教室(研修室1)と、NSCで使用していましたパソコンを活用して、研修事業の一部を実施するようになった。

平成 20 年度は、長崎県から約 450 万円の補助金を頂き、アンケートによって、皆様から要望を収集して、希望の多きものから、21 講座を開講して実施した。皆様の人材育成に対する熱意によって、多くの方に受講して頂いたお陰で、長崎県からの目標であった 200 人を大きく上回り、230 人を達成した。受講された企業の皆様に厚く感謝。

本事業は、NISA 一丸となって、佐藤技術委員長を中心に、技術委員(江崎・井上・渡邊・小原・岡の各理事)の並々ならぬご尽力と会員の皆様のご理解によって、成功裏に終了することができた。

	講座名	開催日	日数	人数
1	LINUX基礎1	6/5~6	2	12
2	LINUX基礎2	6/19~20	2	11
3	LINUXシステム管理	7/17~18	2	11
4	LINUXネットワーク管理1	8/21~22	2	11
5	LINUXネットワーク管理2	9/18~19	2	11
6	LINUX Webサーバー構築	10/16~17	2	12
7	LINUX セキュリティ	11/20~21	2	11
8	JAVAプログラミング1	9/24~26	3	12
9	JAVAプログラミング2	10/28・29	2	12
10	JavaによるUMLとオブジェクト指向(応募者不足で中止)	12/10・11		
11	JDBCプログラミング	11/26~28	3	6
12	CISCOルータによるネットワーク構築	11/12~14	3	10
13	VBによる.NETプログラミング	11/5・6・7	3	16
14	リレーショナルデータベース	10/7・8・9	3	13
15	データベースの構成と管理	11/18・19	2	12
16	ネットワーク構築	8/27~29	3	12
17	高信頼性ネットワーク構築	1/29・30	2	6
18	システム分析・設計	12/24~26	3	9
19	コミュニケーション能力	12/17~19	3	8
20	SEのためのネゴシエーション	9/1・2・3	3	20
21	プロジェクト管理	1/7・8・9	3	15
	合 計		50	230

Ⅲ・2 NISA と外口アカデミーとの共催研修

NISA 独自(補助金無)で会員企業と共催して 4・5月開講した新人から 3 年未満を対象とした下記研修について 4 講座、46 人の方に受講して頂いた。

	講座名	開催日	日数	人数
1	プログラム設計技術	4/21~23	3	12
2	プログラムワークショップ	4/24~28	3	11
3	システム設計技術	4/30~5/2	3	15
4	システム設計ワークショップ	5/7~13	5	8
	合 計		14	46

Ⅲ・3 JISA 補助金による研修

JISA からの補助金で下記を実施した

- i) IT 技術者のコーチング(2/7・8):受講者5名
 - ・講料: ¥8,000/日+教科書代、2 日間で 16,000 円はキャリア助成金を受けると 800 円
- ii) 高度 IT 技術者のコンサルの能力(2/18・19):受講者14名
 - ・講料: ¥8,000/日+教科書代、2 日間で 16,000 円はキャリア助成金を受けると 800 円

Ⅲ・4 他団体等で実施される研修への参加

(1) 長崎県「産学官連携人材育成事業」の「組込ソフト連携セミナー」

情報家電や自動車など私たちの生活に身近な製品のありとあらゆるところに組み込まれているソフトウェアの基礎的知識と将来展望について、長崎大学・長崎総合科学大学・長崎県が連携してセミナーを開催。

長崎大学では、長崎県内で取り組まれている組込ソフトの人材育成事業の解説、

長崎総合科学大学では、外部講師を招いてシンポジウムを開催。

①組込ソフト基礎講座 21-2-21(土)13:00～17:00

長崎大学 総合教育研究棟2階 207番教室 30名

13:00～14:00 組込ソフト概論 講師:長崎大学 藤村誠 准教授

14:10～15:30 企業立地促進法を活用した組込ソフト人材育成の事例

講師:佐世保高専 川下智幸 教授、前田貴信 助手

15:45～17:00 福祉関連機器における組込ソフトの活用事例

講師:長崎大学 石松隆和 教授

②組込ソフトシンポジウム～次世代自動車と医療への応用に向けて～ H21-2-28(土)13:00～17:10

長崎総合科学大学 シーサイトキャンパス 人間環境学部講義室1階 100名

13:20～14:10 基調講演「自動車組込ソフトウェア人材育成と品質」講師 トヨタ自動車(株) 林 和彦氏

14:15～14:50 招待講演「組込ソフトウェア産業の実態と技術者育成への地域の取組み」

講師 情報処理推進機構 田丸喜一郎氏

14:55～15:30 招待講演「東海大学の組込技術教育と人材育成戦略について」

講師 東海大学 教授 大原茂之氏

15:45～16:20 特別講演「組込システムの高機能化と品質を支えるシミュレーション技術」

講師 dSPASE Japan(株) 有馬仁志氏

16:25～16:45 研究発表「長崎総合科学大学情報学部における組込ソフト教育について」

講師 長崎総合科学大学 准教授 下島真氏

16:50～17:10 研究発表「組込技術を使った医療デバイスの開発と遠隔医療システム」

講師 長崎総合科学大学 教授 田中義人

(2) データセンター実務研修 オフィスメーション株式会社 電脳BLD. (4 階研修室)

データセンターに習熟した人材を創出するための技術研修として、業務に必要なネットワーク運用管理技術等の知識の習得及び機器の設定方法などを学習する。

1) IDC ビジネスの概要と業界の動向 (1 日) H21-1-26(月)13:40～16:30

なぜ今、インターネットデータセンターが注目されているのか、IT 業界、インターネットデータセンタービジネスに携わる方に、概要と必要となる知識を習得する。

2) インターネット技術 (3 日間) H21-1-27(火)～29(木) 9:30～16:30

イーサネットと TCP/IP によるネットワーク通信の基本的な仕組みを理解した上で、通信事業者が提供するネットワークサービスの特徴や DNS をはじめとしたインターネットサービスのプロトコルについて理解を深め、ネットワーク技術を習得。

3) サーバーキテクチャ(3日間) H21-2-17(火)・25(水)・26(木)、9:30～16:30

サーバーを支えるテクノロジーとして、ハードウェアについて Intel ベースのサーバーに関して各種インタフェースや高速化、安全化技術などを学習する。また、ソフトウェアではサーバー OS として利用される代表 OS について特徴を理解。

また、仮想化やブレードサーバなど今後注目される技術を解説。

4) 運用管理技術(3日間) H21-2-12(木)・13(金)・27(金)9:30～16:30

運用管理のデファクトスタンダードである ITIL をベースに運用管理の必要性や具体的な管理項目について、体系的知識を身につける。また、サービス事業者として SLA の重要性や必要な観点を習得。

5) セキュリティ(3日間) H21-2-2-(月)・3(火)・10(火) 9:30～16:30

ネットワークやサーバーに対するセキュリティ脅威を洗い出し、その対策を含めたセキュリティポリシーの基本的な設計項目を理解する。また、脅威に対する対策として、技術的側面と組織的側面の内容を理解。

(2) 地域企業立地促進等事業費補助金

長崎県長崎・島原地域産業活性化人材養成等支援事業

連絡先: 長崎県職業能力開発協会 担当: 浦・村木氏、受講料無料

今春の入社予定の方、スキルアップを目指される方、求職者の方等受講に係る制限無。

1) 3次元 CAD(金型設計) H21-1-17日(土)～H21-2-14(土)6日間、10:00～18:00 20名

長崎大学 総合研究棟10階

産業界で広く使われている本格的な3次元CAD・ソリッドワークスの講習会開催。ソリッドワークスを用いた機械部分の設計技術とプレス金型の設計技術を習得。

2) 3次元 CAD(CATIA) 導入促進研修(経営者・役職者の方向け)

H21-1-23(金) 13:30～16:30 20名 長崎県職業能力開発協会

2次元 CAD との違いや、3次元 CAD の特性、各種分野での3次元データの活用について紹介。(セミナー形式)

3) 3次元 CAD(CATIA) 人材養成研修(技術者向け) H21-1-31(土)～H21-2-21(土)9:30～16:30

長崎県職業能力開発協会 全24時間 20名

3次元 CAD の特徴を学び、ソリッドモデルの作成、3次元プリンタを使用しているモデル作成演習等を学習。

4) 組込ソフト研修(全24時間) H21-2-24(火)～H21-2-27(金)9:30～16:30、 15名

長崎県職業能力開発協会

組込システムの概要、C 言語を用いた処理内容の記述、実習等

5) コールセンター実務研修 H21-2-19(木)・2-20(金)10:00～16:00(全10時間) 20名

長崎県職業能力開発協会

内容: コールセンターの概要、パソコンの基礎捜査、文章入力等

6) データセンター実務研修 H21-1-26(金)～H21-2-27(金)(全13日間)9:30～16:30

オフィスメーション株式会社 20名

データセンターに必要な業務内容・機器操作・トラブル対応等を学習。

7) 組込みソフト② H21-3-13(金)～H21-3-15(日)10:00～17:00(全18時間) 12名

長崎総合科学大学

基本的なマイコン及び組込ソフトの理論とさまざまな利用法を学習し、各自で選択した課題を制作する実習を通じて技術を理解。

8) 3D 映像シミュレーター H21-2-28(土)・H21-3-7(土)10:00～17:00(全12時間)10名

D-FLAG(ながさき出島インキュベータ)

3次元の映像を作成するソフトや機材の構成の基本を、5面 CAVE の装置の運用法を取得。

9)「技術者育成講座」受講生募集 経済産業省の補助金を活用

長崎県産業労働部産業人材課 村崎かおり氏から依頼

受講料:無料

募集期間:講座開設1ヶ月前(定員になり次第締切)

申込先:NPO 法人サンスイ機構 佐世保分室 TEL 0956-34-1570

①3次元 CAD を活用した PR 技術研修 15名 10/18

～開発・技術者向けの3次元 CAD 活用研修

②組込みソフト研修 初級コース 20名 8/23・30、9/6、10/4

③組込みソフト研修 中級コース 20名 10/25、11/1、11/15

④製造工程システム化研修 初級コース 15名 9/13

⑤製造工程システム化研修 中級コース 15名 10/11・18

⑥溶接技術研修 炭酸ガスアーク 12名 すみ

⑦溶接技術研修 TIG 溶接 12名 1/31、2/7・14

⑧セラミック材料応用技術 10名 9/13・27、10/4・18

情報処理技術者試験資格取得

①第1回初級アドミニ 40名 7/5・12・26、9/13

②第2回初級アドミニ 40名 1/10・31、2/14、3/7

③基本技術者 40名 1/14、2/7・28、3/14

④電子デバイス設計研修 15名 11/29、12/13、12/20

IV 人材高度化能力開発事業(H16 年度からキャリア形成促進事業)

人材高度化能力開発事業は平成 12 年度を準備年度として、平成 13 年度から 3 年間にわたり、独立行政法人 雇用・能力開発機構の助成金によって、事業を展開し、平成 15 年度に完了した。平成 16 年度より、キャリア形成促進助成金に取組んで今日に至っている。

* キャリア形成促進助成金

人材高度化助成金の場合は、26 社認定(実績 22 社)されていたが、キャリアの場合は、高度化と比べ助成率が 1/2 となり、提出書類も複雑であるとの勘違いから、H16 年度は 9 社と少なかったが、平成 18 年度は 16 社となった。平成 19 年度は助成率が 1/3 であったが、27 社認定。平成 20 年度は、30 社が認定。

IT分野は、技術の進歩が日進月歩であり、常に最新技術を修得することが、企業の将来を左右すると言われており、人材こそが IT 業界における重要な経営資源であると認識され、多くの企業がその育成に取り組んでおられることに敬意を表します。この重要な事業を NISA 事務局もご支援するために次のことを続けている。

人材高度化能力開発助成金制度が平成 15 年度で終了したため、平成 16 年度からキャリア形成促進助成金制度に取り組むよう希望があり、協会で行うことに理事会・総会で決定し、H20 年度は下記を実施した。

(1)雇用・能力開発機構による説明会への参加(商工会館)

雇用・能力開発機構長崎センター 助成部門長係長 安藤氏による企業に対する説明会に参加し質問して、参加者の理解を深めてもらった。

(2)H21 年度認定申請書作成(計算式入れた電子フォーム)し、申請を支援(H20 年 3 月・5 月・10 月)

キャリア形成促進助成金は、初回申請の場合、研修を実施する前であれば、期限なく何時でも良い。H20 年度認定申請担当者の変更があった企業への説明、並びにチェック等の支援を 24 社について実施した。今後、申請について、準備している企業の支援を実施する。

(事務費:支給認定額の 10%)

(3)ソフトウェア SuccessPro の各企業へのインストールと説明を実施 28 社完了

(4)支給申請書のチェック支援

計算式を入れた申請フォームをNisaで作成し、認定企業に配布し、申請業務の合理化と共同チェックを実施した。

支給申請共同チェック 5/8(火)～5/19(月)、支給申請共同チェック 11/11(火)～11/21(金)

(5)留意点のメールによる配信

(6)説明会の案内

H20-9-17(水)長崎商工会議所(2階ホール)13:00～

H21-2-10(水)長崎商工会議所(2階ホール)13:00～

V 情報提供

上部団体である(社)情報サービス産業協会(JISA)、全国地域情報産業団体連合会(ANIA)、経済産業局からの情報をメールで配信。携帯端末で見やすいように、要約をしている。

1. ANIA (全国地域情報産業団体連合会 会員速報)
2. JISA メール
3. 九州経済局からの情報
これらは、東京での開催が多いが、中央での動向を掴む意味で配信している
4. 会員情報 など

VI 理事会(役員会)

VI・1 役員(理事・監事)の会費値上げ

役員企業は、年会費を一般会員 6 万円プラス 6 万円、合計 12 万円とする(H20 年度)

VI・2 理事会(役員会) 主な項目のみ下記に記す

(1)第 1 回 役員会 (H20-4-25(金) 14:00～16:30、出島交流会館、

役員以外の出席者:長崎県松村課長補佐、佐々野主任主事、黒川主任主事、塚副課長補佐

1)通常総会時の講演会テーマと講師(江崎理事:江崎誠部長から報告)

2)H20 年度研修計画(県申請)について、下記を承認

補助金 450 万円、20 科目、受講者目標 200 名、5 月初旬に申請、科目当り、5 名収支均衡で計画研修が軌道に乗った時点で、アルバイトを採用 8 万円/月。

3)来年度メインテーマ下記を承認

- ①キャリア形成促進事業内容と事務費 5%から 10%へアップを承認。
- ②会員拡大:退会があるので、現会員数を維持するために、新規加入を促進する。
- ③新公益法人への移行準備:会計基準の作成を H21 年度までに作成する。石井税理士の支援を受ける。
- ④ANIA の定款を参考にする。
- ⑤コラボ事業「一歩進めために」:外部団体との交流・研究会の開催等。
- ⑦来年度役員体制:原則として、会長・役員(理事・監事)留任を決定。理事の公募実施。
- ⑧ANIA 理事会報告と ANIA 総会への参加者決定(石橋会長・事務局)。
- ⑨中小企業景況調査;四半期ごと4社へ調査(中央会から受託)承認。

- ⑩下請適正取引推進がトライン普及啓蒙業務について、NISA でのセミナー実施を承認。
- ⑪キャリア形成助成金 H20 年度認定申請共同チェックと事務費アップ(5%→10%)を承認。
- ⑫平成20年度長崎県高度情報化推進協議会通常総会および講演会の開催(5/22)NISA から出席。
- ⑬「長崎環境・エネルギー産業ネットワーク」の会員を募集中、NISA 企業の参加を決定。
- ⑭IPA 情報関連人材育成事業を行う新事業支援機関について調査。
- ⑮産学連携「先導的IT人材育成」についての今後取組みについて検討課題。

(2)第2回 役員会 H20-5-29(木) 14:00~16:30 出島交流会館

役員以外の出席者:長崎県佐々野主任主事

1)第15回通常総会の運営体制:下記承認

- i)総会6月開催を承認
- ii)運営体制:
16:30~17:30、3F「紫陽花」、総合司会:須藤理事、
受付応援:大串氏(オフィスメーション)、中川氏(不動技研)、塚原氏(長菱ソフト)
- iii)通常総会議案書を検討し、最終案を6月12日理事会で決定する。

2)講演会の講師とテーマ:下記承認

- i)講師:日本IBM 須崎一成部長、テーマ「地球にやさしいIBMのProject Big Greenへの取り組み」
- ii)司会:江崎理事

3)産学官交流会の運営体制:承認

18:00~20:00、2F「妙見」、司会:濱本副会長兼交流委員長

4)高度情報技術資格者の表彰式の中断を承認

5)平成19年度 会計報告と監査結果報告 19年度決算承認

6)新公益法人への移行準備について

7)委員会を見直し下記の4委員会に集約。H20年度重点方針と実施項目の承認

- ①技術委員会(佐藤副会長)
- ②総務企画委員会(中尾副会長)
- ③組織強化委員会(扇委員長)
- ④交流委員会(浜本副会長)

8)事務局体制:後任者から断りがあり、引続き現体制で進めながら、後任者を改めて探す。

9)元アスキーの社長 西 和彦氏による講演会長崎市とNISAで共催承認(7月末から8月初旬)

11)Java&RubyNagasaki イベント(5/31、13:00、出島交流会館)案内

12)兵庫県へのOSSデモ(6/16、14:30~16:30)参加を募集(OSVFN)

13)平成20年度長崎県高度情報化推進協議会 通常総会・講演会(5/22木、13:00~)報告

講演会「番組も『地域』もつくる住民デレクター」(有)プリズム 代表取締役 岸本 晃氏

14)第30回全情連大会 ANIA 北海道大会(6/25・26)参加者決定:石橋会長・濱本副会長・事務局

15)キャリア形成助成金 H20 年度認定申請共同チェック期間の承認:3/13(木)~3/21(金)

H19 年度後期支給申請共同チェック期間の承認:5/8(火)5/19(月)

16)研修事業の状況報告

- i)IT エンジニア育成研修(メロアカデミーとの共催)
 - ・プログラム設計(18h)4/21・22・23→12名参加
 - ・プログラムワークショップ(18h)4/24・25・28→11名参加
 - ・システム設計技術(18h)4/30、5/1・2→15名参加
 - ・システム設計ワークショップ(30h)5/7・8・9・12・13→8名参加
- ii)Linux 研修 受講料(県補助金によるNISA研修)、長崎高等技術専門校研修室

- ・Linux 基礎Ⅰ：6/5・6→12名参加
- ・Linux 基礎Ⅱ：6/19・20→11名参加
- ・Linux システム管理：7/17・18→11名参加
- ・Linux ネットワーク管理Ⅰ：8/21・22→11名参加
- ・Linux ネットワーク管理Ⅱ：9/18・19→11名参加
- ・Linux Web サーバー構築：10/16・17→12名参加
- ・Linux セキュリティ：11/20・20→11名参加

(3)第3回 役員会 H20-6-12日(木) 14:00～16:30 :出島交流会館

役員以外の出席者:

長崎県 佐々野主任主事、

長崎市商工部産業振興課 産業情報支援センター 稲田センター長(主幹)

1)長崎市の提案を検討

- ①2008 第8回アジア太平洋都市サミット(9/26～9/28、大連市)への参加募集
- ②データセンターに必要な人材育成 (懸案事項)

2)第15回通常総会議案書(案)の詳細検討 下記頁の字句を修正し承認

頁3、9、13、16、25、33、34、39、42、43各頁を修正

3)第15回通常総会司会進行(須藤理事作成)案を承認、

4)産学官交流会司会進行案(濱本副会長作成)承認

5)通常総会・講演会・産学官交流会体制を再確認し、承認

6)産学官交流会 式次第 承認

(4)第4回 役員会 H20-6-23(月) 13:00～14:10 ホテル セントヒル長崎 4F グラバー

1)講演会体制確認(司会:江崎理事)

2)第15回 通常総会体制確認(司会:須藤理事)

3)議案書P38「第4号議案 定款変更について」の項、下記内容に変更することを承認

(既に印刷済みのため、通常総会の席上、口頭で訂正する)

第5条

①正会員

本会の目的に賛同して、入会した長崎県内に活動拠点を置く情報サービス業及び情報関連産業
営む個人又は法人 (下線部分を追加)

②P36「第5号議案 その他の案件」→「第6号議案 その他の案件」に口頭訂正

4)産学官交流会体制の確認(司会:浜本副会長)

式次第のトピックス、特別変更のあった会社を当日探し、紹介する。

今年度から、会長・副会長は、白バラ記章、役員は赤い花記章を着用する。

役員は来賓の最後の見送りをする。

5)新入会員の承認

- ①株式会社 システムサービス

6)平成20年度第1回 ANIA 事務局長会議提出資料の審議:下記訂正して承認

「4. 電子県庁への取組み」についての項 導入や検討中の県名を抹消

(5)第5回 役員会 H20-7-24(木) 14:00～16:45 出島交流会館

役員以外の出席者:長崎県 佐々野主任主事、OSVFN 幹事長 中野一英(NDKCOM 専務取締役)

1)OSVF 長崎報告と審議・承認(中野 OSVF 長崎幹事長説明)

長崎県 OSS のデモが活発になってきている中で懸案事項がある。

- ①デモ等営業活動は各企業が出張費自前のためOSVF補助金が枯渇する。

②ライセンスが長崎ライセンスとなっており、参加企業への利益還元ができにくい。

OSVFの存在意義を問うことになるため、打開策について協会より県に申し入れる。

③役員がOSSシステムのデモを一度見る。別途日程調整。

④CURL 社の CURL 技術者ブログへの原稿寄稿については出来る範囲で実施する。

中野幹事長見解

兵庫県庁、和歌山県庁のデモ。その中で、長崎県庁の庶務・事務システムの実用性、完成度の高さを実感。このレベルの製品は世の中にはない。どこの県も次期システムとして検討せざるを得ない状況にある。次は鹿児島県へデモ。

2) 第 15 回通常総会議事録 事務局案を一部修正し、承認

3) H20 年度研修計画承認

①21 講座中、20 講座について、日程、講師委託先・受講料決定。

②受講料は、9 名が採算ラインであるため、9 名以上の受講者をお願いする。

③Linux の7講座では、5 名を採算ラインとし79名の受講者で実施中。そのほか14講座で9名としなければ、数値目標である200名に到達しない。

④各役員企業より1講座1名を受講してもらおうと、定員が確保できるので、協力をお願いする。

⑤研修場所は3ヶ所に分散して実施する予定。

4) H20 年度研修事業 アルバイト採用を承認。

①目的は岩永事務局長の負荷軽減にある。

②研修事業の大半の仕事をDSとして、研修担当理事は研修開始日に挨拶を担当する。

5) 事務局長後任者の H20 年度中決定を承認

20 年度中に後任者候補を決定する。

①人選については、前提条件を整備し各役員より推薦をして貰い決定したい。

②前提条件については、固定給でお願いし面接時に仕事の内容等について調整する。

6) 新旧役員歓送迎会(交流委員長) : 8/28(木) 決定

7) 長崎県自動車関連産業振興協議会総会 H20-7-29(火) 14:30～、サンプルメール

協会代表で組込みソフト部会長を須藤理事にお願いすること決定したが、部会は設置されなかった。

8) 新入会員の下記を承認

①(有)永電エンジニアリング

②富士通エフ・オー・エム(株) 長崎営業所

9) 九州地区情報産業協会等会長会議の出席者の承認 H20-7-29(火)

「九州情報産業協会会長会議(仮称)資料」を説明し、承認

10) 山口県情報産業協会 会長 笠原宏文氏(山口菱洋システム社長) 来訪

会費状況の資料 商売のヒントとして県を含め営業展開を考えたい。

山口県は企業の人数によって、年会費は下記の通り

5 人以下 3 万円、10 人以下 6 万円、20 人以下 10.8 万円、30 人以下 14.4 万円、50 人以下 16.8 万円、90 人以下 20.4 万円、150 人以下 24 万円、200 人 26.4 万円、200 人超 28.8 万円

11) 長崎市産業情報支援センター 講演会 & 交流会 : NISA との共催を決定 7/18

「ベンチャー魂」アスキー創始者 西和彦氏 8/1(金) 15:30 つきまち5F ホール

12) 理事・監事就任承諾書及び履歴書の提出促進を依頼

13) 中国人留学生の採用する企業(県からの依頼)

採用する企業は申し出ること

(6) 第6回 役員会 H20-8-28(木)、14:00～16:45、出島交流会館

役員以外の出席者: 長崎県 佐々野主任主事、Javacom 長崎 代表 峰松浩樹(ランカードコム社長)

1) 佐々野主任主事

長崎県産業振興財団が、新分野進出、新技術導入、事業拡大などの助成を募集している。情報・電子産業も対象分野になっているので、対象があれば申し込みをお願いします。締め切りは、10月31日。詳細は産業振興財団のホームページ参照。

2) NISA 研修現況と来年度計画(佐藤技術委員長)

受講生募集は、年間目標200名に対し、8/25 現在で145名。ほぼ目標どおり受講。

確定していない「サブレットプログラミング」は、「CISCOルータ設定」に変更する方向で調整中。

Ruby関連コースは、JISA地域高度化技術者育成事業の助成金が受けられる目処がついたので、詳細を決めて行く。

機器を使わない研修は出島交流会館を使うが、確保出来ない場合は石井税理士事務所を借りる。

来年度のカキュラム作成の準備は、技術委員会で早急に検討を開始する。

2) 長崎県電子県庁デモを決定(次回役員会時) H20-9-26(金) 13:50~15:10

3) 新公益法人化への説明会出席:決定 H20-9-16(火) 13:30-18:30 東海大学校友会館「阿蘇の間」

ANIAから開催案内があり、時期尚早との意見もあったが、情報収集を主目的に岩永事務局長が参加することに決定。

4) 石井会計事務所との打合せと体制確立を承認

9月中旬から、総務企画委員会を中心に推進する。詳細日程は、石井会計事務所と打合せて決定する。

5) Javacomm 長崎(会長 峰松社長): RBC 長崎と同様 NISA の下部組織とする: 承認

今年3月、JAVA関係の情報交換を行う「Javacomm長崎」を設立し、代表に就任した。

活動をして行く予定なので、多くの参加をお願いします。

H20-8-23(土)に第一回セミナーを開催し、約20名の参加があった。

Java についての情報交換、利用普及活動を行い、Java 技術者の自発的なコミュニケーション力を向上させるもので、RBC 長崎と同じような形態で、1、2ヶ月に1回開催したい。

NISA の下部組織とすることが承認され、OSVFN(中野幹事長)、RBC 長崎(三海代表)、Javacomm 長崎(峰松代表)が、交互に NISA 理事会に参加することになった。

6) キャリア説明会(長崎会場への出席:再度依頼)

H20-9-10(水)佐世保、9月12日(金)諫早、9月17日(水)長崎で開催されるが、NISA 会員は、長崎会場に参加するようお願い。

岩永事務局長が代表質問で参加者の理解が深まるようにする。

長崎会場 開催日時:9月17日(水)13:00~15:00、長崎商工会議所(2階ホール)

7) 中小企業 IT 経営力大賞 2009」の公募【九州経済局】IT応援隊

経済産業省が募集しているので、あれば申し込みをお願いします。

8) 平成20年度 ANIA 大会報告「IT-JV への取組」と NISA への適用検討(浜本副会長)

北海道大会で発表された「IT-JV ビジネスの取組み」について報告。

140 人月規模の案件を JV で受注し、現在開発中プロジェクトの紹介。

長崎で実施するとしたら、①中核となる企業が必要であり、②利益配分が難しい、③問題発生時に協力できるかなどの意見があった。

9) 平成20年度人材養成等支援事業「技術者育成講座」:最終はオフィスメ-ションで対応

長崎市から、技術者育成に使う PC 購入補助の打診があった。詳しい内容は不明だったが、緊急に NotePC20 台の見積りを要請され、事務局と会長で対応した。もし認可されれば、NISA の研修事業にも活用したい。

10) 長崎県高度情報化推進協議会 コアメンバー会議(石橋会長) H21-9-24(水) 15:00~17:00

11) 「技術者育成講座」受講生募集の案内

経済産業省の地域企業立地促進等事業費補助金を利用した研修で、受講料は無料。

佐世保高専で開催され、詳細は長崎県産業振興財団のホームページ参照。

12) キャリア認定申請取組み中

アイ・エス・ケー、永電エンジニアリング、三菱制御システムの3社の申請作成中。

13) 九州地区情報産業等会長会議 報告: H20-7-29 15:00～17:00

博多で開催され、会長と事務局長が参加した。

第一回目の会議で、顔合わせ的な会議であったが、各県の会員数や予算規模が分かった。

九州経済産業局から施策について話しがあったが、具体性がなかった。予算が確定する 10 月頃に再度開催する。

14) 第 112 回中小企業景況調査報告と調査依頼

年4回、Fax で出していたが、事務局で EXCEL 化し、メールで送る。

15) アジア地域からの外国人社員の受入・活用のポイント (JETRO)

H20-8-8(金)13:00～15:00 長崎市立図書館 1 階 多目的ホール

(7) 第7回 役員会 H20-9-26(金)13:10～16:30 出島交流会館

【役員会 事前行事】

1) 実践型人材育成システム説明 13:10～13:40 雇用・能力開発機構 吉村宣明課長 様より説明

対象者: 15 歳から 35 歳未満若者、企業の中核的人材の育成を目的。

助成制度

①OJT: 訓練生 1 人 1 時間当たり 600 円。

②OFF-JT 受講料、賃金の1/2。

厚生労働大臣の認可を要す。(条件は下記)

・訓練期間: 6ヶ月～2年以内。

・総訓練時間: 850 時間/年以上。

・総訓練時間に占める OJT の時間数の割合は 2 割から 8 割以内。

・対象者は、15 歳～35 歳未満など。

・訓練終了時の客観的且つ公正な方法での職業能力評価。

2) 電子県庁デモ実施 13:50～15:10

長崎県 情報政策課 今富係長 様、トウアイネット 井川取締役 様 より デモ実施

【役員会】

1) (社)長崎県情報産業協会 主たる事務所の住所名変更: 承認

長崎市興善町 4 番 6 号岩産ビル 701 号→長崎市興善町4番6号 701

2) 新公益法人化検討委員会(総務企画委員会)の設置と移行を審議

新公益法人制度説明会/情報交換会」の報告(事務局) 添付資料:出張報告

移行の最終期限:平成 25 年 11 月 30 日(それ以降は解散:資産は寄付)

3) JISA 補助金申請下記承認

i) 地域における高度 IT 技術者育成

①高度 IT 技術者のためのコーチング(講師:水谷朋子氏)・・・2 日間

財)生涯学習開発財団認定コーチ コーチングオフィス 夢じゅく

②コンサルティング能力実践講座 (講師:坂下正洋氏)(2日間)

ii) 地域高度化事業

①通常総会 講演会

②新春講演会

4) キャリア説明会(長崎会場)概要と支給申請受付期間(事務局): 下記事務局案 承認

支給申請書の共同チェック期間:11 月 11 日(火)～21 日(水)、

10 月下旬計算式を搭載した電子フォーム配信

5) ソラン九州株式会社 入会承認

住所:福岡市博多区上呉服町 10-1 博多三井ビル、代表者:小玉修市氏、電話:092-2383-4120

従業員:100 名、長崎 7 名、NISA 担当者:江口正博氏、電話 095-818-4787

6) 長崎市子ども基金(長崎市子ども部 子育て支援課 企画係) 寄付検討: 寄付しないことに決定

7) イトIT視察について(時期、要望等の確認)

イトIT視察の希望者数は「7~8 名」、詳細計画を浜本副会長より提示して再度確認する

8) 長崎県高度情報化推進協議会 コアメンバー会議報告 H20-9-24(水) 15:00~17:00

①議会のあり方について、②調査研究事業の途中経過

9) 理事の登記完了(9/22)、次回定款変更時に下記も改定する:承認

次回通常総会で定款変更時下記の通り改定する。

「理事任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結時までとする。」と改訂する。

10) 研修事業報告

受講者は、皆様のご協力により、ほぼ目標を達成し順調に推移している。

7 月末から DS(ダイヤモンドスタッフ)からワードエクセルの講師を派遣してもらったが、本業(先生)が多忙となり、折角 1 ヶ月に亘り指導したが、8 月末で終了。その後、旧菱算の OB である山本義弘氏に 9 月はじめから、アルバイト勤務。9 月指導がほぼ終了する予定。人柄もよく、PC 操作も堪能であり、今後の活動を期待。

11) 平成 20 年度 ANIA 第3回理事会案内(10 月理事会) H20-10-21(火)ミーティングプラザ新橋

①公益法人法改正による一般社団法人化について

②新春交歓会開催について

12) モノづくりフェア-2008(10/23~10/25)、10:00~17:00 マリンメッセ福岡(博多区沖浜町 7-1)

招待状;有(希望者へ配賦)

13) Nisa HP の改訂:承認

酒井理事のご好意により、添付ファイルが付けられるように改訂。特に、研修事業の広報に添付ファイルが必要であった。(4 万円)

14) IT コーディネータ試験 受験案内・願書 試験日 H20-11-23(日)

受付期間:H20-9-1(月)~10-9(木)

試験時間:14:00~16:00(120 分) 集合時間 13:30

試験会場:札幌、東京、名古屋、金沢、大阪、広島、高松、福岡、沖縄(9会場)

受験料:21,000 円

(8) 第8回 役員会 H20-10-23 日(木) 13:10~16:45 (16:50~17:50 技術委員会)

役員以外の出席者:長崎県 佐々野主任主事

【役員会 事前行事】

H20 年度普及啓発のための下請がイライン(13:10~15:20)(情報サービス・ソフトウェア)説明会

講師 (社)中小企業診断協会静岡県支部 中小企業診断士 岩崎美紀 氏

1) (社)長崎県情報産業協会 主たる事務所の住所名変更(呼称変更):(再度)承認

長崎市興善町4番6号 701 とする。

2) 新公益法人化検討委員会の設置と対応を審議し来年度から対応:承認

一般社団法人へ移行するにも対応が必要であるが、今期は対応しない。来年の7月からの ANIA の指針を参考とする

3) 平成 21 年新春講演会テーマ:承認

NECから講師をお願いする。(扇 理事担当)

4) JISA 九州・沖縄支部会の開催案内と NISA 出席者の決定 20 年 11 月 27 日(木)14:00～18:30

出席者:石橋会長、事務局、その他:参加者:無し
(事務局は ANIA 事務局長会議をダブるため出席できず)

5) 平成 20 年度第3回理事会報告(10 月理事会)と討議:石橋会長報告

ANIAが一般社団法人となるが、ANIAの事務局長が経済産業省へ出向き、専門家を入れて定款の変更を検討する。

6) H20年度 地域情報化セミナー開催の案内と NISA 出席者決定(10/15 メール発信)

NISA 役員 出席者: 藤本代理、濱本副会長、須藤、岡理事、酒井理事

7) 人材養成研修のご案内

- ①3次元 CAD(参考) 完了
- ②組み込みソフト(中級)(18名あと2名未):参加者:アイティースペース(3名) エル・エス・アイ(1名)
- ③電子デバイス 設計:2名あと13名(10/20 現在)参加者:アイティースペース(1名)

8) 長崎総合科学大学 公開講演会案内(総科大:池末)(10/7 メール発信)

NISA 出席者: オフィスメーション、不動技研、PAL構造

9) キャリア助成金支給申請受付期間(事務局):承認

- ①支給申請の共同チェック:11/11(火)～11/21(火)を受付期間
- ②有期実習型訓練に対する助成(対象有期実習型訓練)【新設】
取組みを行っている会員:エコー電子、システムファイブ
認定条件等については、商工会議所の担当の原次長へ相談するのが良い

10) キャリア助成金 H19 年度下期:承認

キャリア形成促進助成金支給申請受付簿(H19 下期分)
資料(平成 20 年度第4回役員会 添付資料の(2-40)に詳細記載

11) NISA 研修の状況と今後の対策

- ・今期の研修は、最低でも 220 名は受講者が見込める→目標の 200 人の達成はクリア
- ・JISA の助成金で「高度 IT 技術者へのコーチング」の講習会を予定(H21 年 1 月頃)
- ・予算が見えてきたので、支出の検討にはいる。(高技専の PC も壊れてきており、保守が必要)
- ・来期は、県の補助金が 1/2 になるが、県には今期の実績を評価した補助金、代替金をお願いしたい。

12) IT 技術者育成で事業(神奈川県情報サービス産業協会 池田典義会長 300 社):石橋会長報告

・地域企業立地促進事業費補助金の平成21年度については、総合科学大学での開催となるようであるが、詳細を調べてもらう。→(県新産業創造課 新産業支援班 佐々野 主任主事)

13) イトIT視察について(時期、要望等の確認)

イトIT視察の希望者数は7～8名

14) コラボ会の開催の方向付け

・コラボ会の開催や会報等を作成するなど、今後検討を行う。

15) 長崎県高度情報化推進協議会 コアメンバー会議(石橋会長出席・報告)

日 時:H20-9-24(水) 15:00～17:00 場 所:本館2-A会議室

- ①協議会のあり方について
- ②研究事業の途中経過
- ③その他

16) H20 年度 第2回幹事会(石橋会長出席) H20-11-18(火)13:00～14:00、長崎県市町村会館4F

17) パートタイム労働法改正紹介

- ・雇入れの際昇給の有無、退職手当の有無、賞与の有無について、文書化
- ・雇入れ後、待遇の決定にあたって、考慮した事項の説明
- ・パートタイム労働者から通常の労働者へ転換するための措置
- ・均衡の取れた待遇 賃金、福利厚生施設
- ・通常の労働者の職務と同じ場合：賃金の決定は、同じ方法、教育訓練の同様
- ・添付資料：パートタイム労働法が変わりました！（H20-4-1 全面施行）

18) 中小企業の労働契約に関する個別相談 案内 ……長崎県中央会

就業形態が多様化する中で、労働者の労働条件が個別に決定・変更されるようになり、この結果会社と従業員をめぐる雇用や労働環境のトラブルによる個別労働紛争が増えている。この紛争の解決の手段としては、裁判制度のほかに、平成13年から個別労働紛争解決制度が、平成18年から労働審判制度が施行されるなど、手続面での整備はすすんできた。しかし、このような紛争を解決するための労働契約についての民事的なルールをまとめた法律はない。

このような中で、平成19年12月に「労働契約法」が制定され、労働契約についての基本的なルールがわかりやすい形で明らかにされている。労働契約法は、平成20年3月1日から施行されている。

このようなことから、本会では厚生労働省(全国中小企業団体中央会)からの委託を受け、就業規則や会社と従業員の間で交わす労働契約、望ましい労働契約のあり方等、様々な問題について、専門アドバイザー(弁護士)による相談・助言を行う「相談窓口」を開設。(要予約)

19) モノづくりフェア—2008(10/23～10/25)、10:00～17:00

会場：マリンメッセ福岡(福岡市博多区沖浜町 7-1) 入場料：1000 円(招待状持参は無料)

20) Nisa HP の改訂

- ・20 年度の事業計画、19 年度の事業報告等改定した。
- ・役員体制の掲載
- ・新定款の掲載
- ・会員企業の改廃

(9) 第9回 役員会 H20-12-11(木)(11 月役員会と 12 月役員会を統合)

15:00～17:00 出島交流会館

役員以外の出席者：長崎県 佐々野主任主事

1) 新春講演会・産学官交流会 体制を承認

i) H21 年新春講演会

- ・開催日時：平成 21 年 1 月 22 日(木) 16:00～17:30(1 時間 30 分)
- ・開催場所：ホテル セントヒル長崎、(昨年新春講演会時に予約済み)
- ・演 題：「NECグループのユニバーサルデザイン戦略」
名称は変わるかもしれませんがユニバーサルデザインに関する講演になります。
- ・講 師：日本電気(株) マーケティング本部 ユニバーサルデザイン・ブランド戦略室
シニアエキスパート 永木 康人(ながき やすひと)氏(決定)

ii) 新春講演会の体制

- ・司会：技術委員会の人選。昨年委員長 渡邊理事…委員でなく、役員が担当。
- ・司会者：渡邊理事(決定)…本日欠席なので、事務局からその旨連絡。
- ・受付：(昨年度は、PAL 構造) 3 名が支援。
- ・今年度： 会社名 氏名
オフィスメーション：氏名 大串様
長菱ソフトウェア：氏名 塚原麻衣子 様
不動技研工業：氏名 塚本早苗 様

iii) 新春産学官交流会

- ・日時:H21-1-22(木) 18:00~20:30、ホテル セントヒル長崎 2F 《妙見》
- ・招待者:30 名前後
- ・講師 永木 康人氏も参加
- ・司会: 濱本交流委員長が会社の創立記念日であるため、須藤理事が担当する。
- ・受付: 講演会の受付の 3 社から応援: 下記 3 名
 オフィスメーション: 大串様、長菱ソフトウェア: 塚原様、不動技研工業 : 塚本様

2) 21 年度 研修結果と研修項目

- ・10/31~11/15 に Nisa 会員にアンケートを実施した結果、昨年に比べ、回収率 44 社(H19 実施) → 24 社(H20 年実施)が悪い。サブプライムローンが発生し、不透明な経営環境になったためか？
- ・H21 年度アンケート結果下記を決定。
- ・受講希望者が 10 名以上になった科目は開講。トータル 23 講座を開講する。
 - ①Linux 研修の受講希望者が激減
 同講座は過去 2 回実施しており、各社の Linux 基礎教育は一巡したと推定。
 - ②プログラミング技術&SE 技術
 - ③Java は過去 2 回実施しているがニーズは高い。
 - ④.Net、C#の新技术のニーズが高い。新言語へのニーズは高い。
 - ⑤データベース&ネットワークは安定したニーズあり。
 - ⑦ヒューマン系は非常にニーズが多い
 - ⑧年度のアンケート結果と比較し受講希望者が少なく、受講希望者 10 名以上は、17 講座。

3) H20 年度 研修事業の収益見込み

長崎ソフトウェアセンターでは、5名以上の受講者が集まらず、中止なったりしていたが、皆様のご協力によって、多くの方に受講して頂いたことも手伝って、収益が良くなる。
 研修事業推進に当り、技術委員会、事務局の負担が高かったため、この際、事務局の環境・設備の整備を行うことを決定。

4) JISA 補助金による地域における高度 IT 技術者の育成研修開催(2/7・8、2/18・19)

i) IT 技術者のコーチング(2/7・8)

- ・講料: ¥8,000/日(申請値)+教科書代
- ・受講料 2 日 16,000 円はキャリア助成金を受けると 800 円
- ・場所: 出島交流会館(確保済み)
- ・教科書代: オリジナルについて、講師決定。

ii) 高度 IT 技術者のコンサル能力向上(2/18・19)

- ・講料: ¥8,000/日(申請値)+教科書代
- ・受講料 2 日 16,000 円はキャリア助成金を受けると 800 円
- ・場所: 出島交流会館(確保済み)

5) キャリア助成金 H20 年上期支給申請 21 社分を雇用・能力開発機構へ 11/25:21社、12/2:1社

- i) 助成金申請額: 22社で 16,981,174 円、
- ii) 支給申請の共同チェック: 11 月 11 日(火)~26 日(火)
- iii) 計算式搭載の電子フォーム: 10 月下旬に事務局で作成して、キャリア認定会員にメールで配信。

6) キャリア助成金 H19 年度下期支給申請の助成額決定

- ・20 社、申請額 5,570,184 に対し、支給額 5,153,552 円
- ・Nisa 事務費: 5,153,552 円×10%=515,355 円(12~1月に各会社に請求。)
 (役員会→通常総会の決定の通り、平成 19 年度下期分から、事務費は助成額の10%)

7) 地域イノベーションパートナーシップ全国大会

- ・H20-11-26(月)15:00～18:30 グランドプリンスホテル赤坂新館 2F クリスタパレス
- ・地域のサービスやものづくりの中小企業における IT 利活用によるイノベーションを促進し、地域経済の担い手としての自律的成長を牽引する基盤を構築することを目的。
- ・広域地域経済圏を単位とし、地域の IT ユーザー(サービス業、製造業)との地域の IT ベンダーの連携強化(パートナーシップ)、その前提としての IT 供給力強化を図る地域主導型の仕組み。

8) 経営応援隊(平成20年度事業)九州地域イノベーションパートナーシップ準備協議会

- ・委員に石橋会長が就任。出張旅費の一部と謝金支給される。

9) 九州 IT 経営応援隊からの協力依頼 11/13

- i) 九州 IT 経営応援隊の事業内容
 - ・九州 IT 経営力大賞(顕彰事業)
 - ・IT イエローページ(仮称)作成
 - ・組込みソフト振興検討会(仮称)(各県1回開催予定)
- ii) 協力依頼事項: 上記について具体的が後日ある。

10) JISA 九州・沖縄支部会の報告 H20-11-27(木)14:00～18:30、ホテルニューオータニ博多「すいせんの間」

- i) 支部長交替。深堀慶憲氏→鎮西正直氏(いずれも九電ビジネスソリューションズ社長)
- ii) 鳥インフルエンザから変異した人から人へ感染する新型インフルエンザに備えるに当たり、電気・ガス・治安維持・自治体・報道などと同様に、情報産業も社会生活を維持していくための重要な業種として認定してもらおう活動をしている。特に、パンデミックワクチン優先的に得られるようお願いしている。
- iii) 中部 IT 健康保険組合では、インフルエンザの予防注射は、家族も含め、保険が適用される。3000 円が上限である。
- iv) 新公益法人化では、JISA はまず一般社団は移行する。(森山氏)

11) H20 年度第5回 ANIA 理事会(11 月)報告 H20-11-26(月)13:00～14:30 グランドプリンスホテル赤坂新館 10F エグゼクティブミーティングルーム

ANIA 新春交歓会(H21-2-5 虎ノ門パストラル)への出席者: 石橋会長、事務局長

12) ANIA 事務局長会議の報告 H20-11-27(木) 10:00～12:30 ミーティングプラザ新橋(詳細は報告書)

- i) 各協会近況報告について
- ii) 緊急総合対策について
- iii) 公益法人制度改革(社団法人)への取組みなどについて
- iv) 新春交歓会開催について

13) H20年度 地域情報化セミナー H20-11-18(火)14:15～16:30 長崎県市町村会館6F

NISA 出席者決定: 石橋会長、酒井理事、藤本氏、事務局 出席

- i) 演題 「地域児童見守りシステムモデル事業」 講師 島原市役所 総合政策課 課長 小川 学氏
- ii) 演題 「学生・自治会による地域通貨の取組み」 講師 長崎総科大学 教授 横山 正人 氏
- iii) 演題 「サイバー犯罪の現状と、情報セキュリティ対策について」
講師 長崎県警察本部 調査官 安部 和信 氏

14) 人材養成研修の受講された企業 長崎県産業人材課

- i) 3次元CAD(参考) H20-10-18(土)9:00～16:20 佐世保工業高等専門学校 CAD室
- ii) 組込みソフト(中級)H20-10-25(土)、11/1(土)、11/15(土) 9:00～16:20 場所:同上
- iii) 電子デバイス 設計:H20-11-29(土)、12/13(土)、12/20(土)9:00～16:20 場所:同上

15)長崎総合科学大学 公開講演会の受講企業(総科大:池末)

出席:浜本理事、酒井理事、事務局出席

テーマ:『情報デザインの目指すもの』

- i) 講演「人間・技術・情報」 瀧山龍三 氏(長崎総合科学大学 特任教授)
- ii) 基調講演「デジタルコンテンツ教育」 教授源田悦夫 氏 (九大大学院芸術工学研究院)
- iii) 講演「情報デザインの実践」 崔 智英<チェ ジョン>氏 (長崎総合科学大学 講師)

16)平成20年農商工連携セミナー (11/4 開催)の受講企業 中央会 H20-11-4(火)13:30~17:00

ベストウエスタンプレミアホテル長崎

本年7月、農林漁業者と中小企業者が有機的に連携をとり、新事業や新商品の開発等に取り組む企業等への支援制度として「農商工連携促進法」が施行。支援対象として

- i) 中小企業者と農林漁業者とが有機的に連携して実施する事業
- ii) 両社の経営資源(技術、知識、ビジネスノウハウ等)を有効活用するもの
- iii) 連携事業により商品、サービスの需要が開拓される見込みのあること
- iv) 中小企業者と農林漁業者の経営を向上させること

(10)第10回 役員会 H21-1-22(木) ホテル セントヒル長崎

役員以外の出席者:長崎県 佐々野主任主事

1)スケジュール 下記承認

- i) 14:00~15:10 第10階役員会《4F グラバー》
- ii) 15:20~15:30 新春講演会の準備、15:30 から受付開始《3F 紫陽花》
- iii) 15:35~ 新春講演会受付開始
- iv) 16:00~17:30 新春講演会 《3F 紫陽花》
- v) 18:00~20:30 新春交流会(懇親会)《2F 妙見》

2)新春講演会体制確認 H21-1-22(木) 16:00~17:30 3F 「紫陽花」:承認

- i) 司会:渡邊理事
- ii) 受付:オフィスメーション:大串 様、長菱ソフトウェア:塚原麻衣子 様、不動技研工業:塚本早苗 様
- iii) 演 題:「NECグループにおけるユニバーサルデザイン戦略」
講 師:NECマーケティング本部ユニバーサルデザイン・ブランド戦略室
シニアエキスパート 永木 康人(ながき やすひと)氏

3)新春産学官交流会 H21-1-22(木) 18:00~20:30 2F 《妙見》:承認

- i) 司会:須藤理事
- ii) 受付:オフィスメーション:大串 様、長菱ソフトウェア:塚原麻衣子 様、不動技研工業:塚本早苗 様
- iii) 講師 永木 康人氏も参加

4)H21 年度 研修について(報告:佐藤技術委員長):総合計 296 名

- i) H20 年度の実績:研修に関する延べ人員
 - ① 県助成の研修講座の受講者:230 人
 - ② 外ロアカデミーとの共催:4講座延 47 名
 - ③ JISA からの補助金:コンサルティング能力実践講座:5 名、
IT 技術者のためのコーチング研修:14 名
2講座 19 名 合計 296 名
- ii) H21 年度 NISA 研修計画 講座名と予定実施時期
- iii) 研修予定 研修項目概要 予定実施日
- iv) 補助金申請のための準備資料(講座名、委託先、費用、補助金、受講料(9 人)等)

5) 事務局 環境整備

i) 複合機の機種選定について下記を承認

12月の役員会環境整備の設備投資が決定され、10万円以下については、事務局と会長・副会長で相談しながら進めることになったが、複合コピー機のメーカーの決定。

九州リコーの特別の配慮により、imaggio MP C4000, 定価2,438,800円を1,020,000円で納入。既存マシンは、9年になり、トラブルが多く、アフターサービスも悪かったが、今回から改善するとの約束で納入を計画している。黒と赤など2色刷りの場合は、B/Wのカウンター料金となり、カウンター料金にトナー代も含まれる。カウンター料金も従来の半額で1001~4000枚で、3.1円である。

最近カラーコピーが増えているが、2色刷りで、十分ではないかと思われる。

最近のマシンは、信頼性もあがっている。1月に設置して、償却を始めた。

6) Nisa 会員の経営環境アンケート結果報告

i) 受注状況について

- ① やや増加 8社 (33%)
- ② ほぼ同額 16社 (59%)
- ③ 1割減 2社 (7%)
- ④ 2割減 無
- ⑤ 3割減 1社 (4%)

ii) 雇用状況

- ① H20年4月の従業員数 27社の合計 2,888人
 - ② H20年12月の従業員数 27社の合計 2,957人
- 全体的には増加した。これからが問題であろう。

7) JISA 補助金による地域における高度 IT 技術者の育成研修開催(2/7・8、2/18・19)

- i) IT 技術者のコーチング(2/7・8): 受講者 5名
- ii) 高度 IT 技術者のコンサルの能力(2/18・19): 受講者 14名

8) 平成 20 年度第 5 回理事会(2 月 5 日(木) 新年交歓会・理事会 東京) 16:00~18:00

虎ノ門パストラルホテル 新館3階 「さつき」の間

18:00~19:30 ANIA 新春交歓会

- 議題
- ① ANIA 活動方針について
 - ② 一般社団法人化について
 - ③ その他

9) ANIA 事務局長連絡会議 H21-2-6(金) 10:00~12:00 ミーティングプラザ新橋

- 議題
- 1 理事会の議論内容に基づいての具体的な活動・実現方法について
 - 2 公益法人制度改革(社団法人)への取組みなどについて

10) ANIA 新春交歓会参加 H21-2-5(木) 18:00~19:30 虎ノ門パストラルホテル「ミントの間」

ANIA 新春交歓会(併催: 東京サテライト交流会): 石橋会長、事務局のほか、富士ソフト SSS 東京サテライト・オフィス 営業課長 小関 雄司氏 参加。

11) 地域企業立地促進等事業補助金による域産業活性化人材養成等支援事業; キャリア助成金対象

- i) データセンター実務研修: キャリア助成金対象 H21-1-26(金)~H21-2-27(金) (13日間)

ii) コールセンター実務研修: キャリア助成金対象 H21-2-19(木)・2-20(金)

iii) 組込ソフト研修① H21-2-24(火)～H21-2-27(金): キャリア助成対象

iv) 組込ソフト研修② H21-3-13(金)～H21-3-15(日): キャリア助成対象

v) 3次元 CAD(CATIA)人材養成研修(技術者向け): キャリア対象 H21-1-31(土)～H21-2-21(土)

vi) 3次元 CAD(CATIA)導入促進研修(経営者・役職者向け): H21-1-23(金) キャリア対象でない。

vii) 3次元 CAD(金型設計)研修 H21-1-17(土)～2-14(土): キャリア助成対象

12) ジェトロ主催「インド投資・ビジネスミッション」JETRO長崎へ直接ご連絡

i) 旅行期間: H21-2-22(日)～2-27(金) 《成田発着、機内泊含む5泊6日》

ii) 訪問先: バンガロール(カルナータカ州)、デリー周辺

iii) エコミー クラス 371, 771 円/成田空港発着現地ホテル集合解散の場合 206, 301 円、
ビジネス クラス 577, 271 円

13) 「海外ビジネスサポートキャラバン in 長崎」開催(佐々野主任主事) H21-2-4(水) 13:30～17:00

ウエルンティ長崎 2階 西海の間

主催: 九州経済産業局、九州経済国際化推進機構、九州知的財産戦略協議会

後援: 長崎県、長崎市、日本貿易振興機構長崎貿易情報センター、長崎県中国ビジネスネットワーク
長崎県新産業創造課(長崎県中国ビジネスネットワーク事務局)

「海外ビジネスサポートキャラバン in 長崎」が九州経済産業局などの主催で、下記開催。

今回のキャラバンでは、中国における市場展開(知的財産権や海外高度人材等の戦略的活用)について、皆様にリアルタイムな情報をご提供。

パネル・ディスカッションでは、「海外高度人材等の戦略的活用について」、産学官のそれぞれの立場から専門家を招き、意見交換を行われた。

今後、中国をはじめとするアジア地域への海外ビジネス展開と、ビジネスチャンスの拡大を図るためには、最新の市場動向を把握することや、それらに対応できるグローバル人材の確保は、長崎県のみならず他地域においても必要不可欠。

これから中国などの海外に進出をご検討される企業から、既に行われている企業まで、非常に参考となる情報を入手できる絶好の機会であった。

内容

第1部 海外ビジネス支援制度について

制度説明: 「海外ビジネス支援制度等について」

海外ビジネス支援制度(知的財産権、EPA・FTA等)について

九州経済産業局国際部国際企画調査課

講演: 「中国の投資環境等について」講師 九州大学 アジア総合政策センター

国吉澄夫教授

第2部 パネル・ディスカッション

コーディネーター: 異文化教育コンサルタント 鈴木有香氏

パネリスト: 九州経済産業局 国際部 部長 木佐貫純也氏、九州大学 国吉澄夫 教授

長崎外国語大学 キャリア支援室 生野耕信氏、長崎県中国ビジネスネットワーク 会長 服部一弘氏

14) キャリア形成促進助成金説明会 H21-2-10(火)長崎商工会議所(2階ホール)

(11) 第11回役員会 H21-2-26(木) 15:00～17:00 出島交流会館

役員以外の出席者: 長崎県 佐々野主任主事

1) セーフティネットの説明(県 佐々野主任主事)

資料配布にてセーフティネットの説明実施。

【配布資料】 ①セーフティネットの概要(A4両面1枚)

②長崎県制度資金(A4両面1枚)

③平成21年度予算に係わる提案公募型事業説明会の開催について(A4両面1枚)

④長崎県中小企業向け融資制度一覧表(A3両面1枚)

2) H21 年度 研修について(佐藤技術委員長): 下記承認

- ・2/3、2/19、Nisa での内部打合せ後、2/20 県の佐々野主任主事にも参加して頂き、H21 年度研修計画(案)がまとまった。
- ・本来県への申請は新年度に入ってからであり、書類等を提出しているのは、新年度の事務をスムーズに進行するための「事前打合せ」という取扱い。県の H21 年度予算もまだ成立していないので、対外的には「申請が完了」とか「補助金が決定した」等の表現は控える。
- ・一応、300 万円弱(H20 年度 450 万円弱)が出るものと仮定して、計画した。
- ・21年度経営環境の激変による研修事業への影響(プラス、マイナス?)、研修受講数の多かった企業動向などを考慮が必要である。
- ・H20年度は、新人から3年目までの新入社員研修を地場講師によって、外アカデミーと共催したが、今回は FSC からの派遣講師としたので、受講料が高くなっている。
- ・23講座を計画し、今年も県から目標は昨年同様200名。
- ・講座ごとに、目標受講者数を設定して、損益計算した。
- ・受講者200名の場合、収支均衡、リスクを考慮して、変動要素の多いテキスト代は別途徴収。
- ◆2-03 については内容を更新し Ver 6. 2として再度配布を予定。
- ◆JAVA・LINUXの研修会場となる高等技術専門校へ石橋会長、岩永事務局長、佐藤理事にて挨拶済み。
- ◆21年度事業計画資料を予算300万円以内にて作成し県へ提出済み。
- ◆研修案内及び年間予約申込書をNetへ公開を予定。

3) 第 5 回 ANIA 理事会(2/5) 報告と検討(石橋会長報告)

審議事項:MM 総研発行のM&Dレポートの抜粋版をMLで定期的に配布されるが内容がわからない。詳細が必要であれば、雑誌を購入する必要がある。年間購読料:96,000 円(税別)の 2 割引(76,800 円)購入するか? 審議したが、購読せず抜粋版をNISA事務局よりメール配信することで決定。

i) ANIA 活動方針について

ii) 報告事項・その他

一般社団法人化について

4) ANIA 事務局長会議(2/6) 報告(報告:事務局)

H21-2-6(金)10:00~12:00 ミーティングプラザ新橋
出席者(敬称略) 武田(北海道)、藤井(青森)、藤原×(秋田)、内田次長(埼玉)、藤井(千葉)、高橋(日本ソフトウェア)、山田×(長野)、岸本×(富山)、石丸×(石川)、進藤会長(福井)、木村(岐阜)、土本(愛知)、和田(京都)、雨坪(岡山)、佐々木(広島)、橘×(山口)、外山会長(徳島)、重松(福岡)、二川×(宮崎)、砂川(沖縄)、岩永(長崎)

決定事項

議題1 理事会の議論内容に基づいての具体的な活動・実現方法について

景気の悪化から会員企業の経営が厳しくなっている。そこで、各都道府県協会としても会員企業に対して、有益な情報を提供して行くためにも、各協会で購入した情報・有効な施策を ANIA 事務局で取りまとめ、共有することになった。

①各協会では把握している補助金・助成金の情報を ANIA 事務局へ 2 月 13 日をめどに報告。

その内容を ANIA 事務局でまとめ、20 日までに各協会にご連絡。

今後も継続して情報共有を行っていきますので、随時 ANIA 事務局までご連絡。

なお、情報は正確を期するため、メールで報告する。

②会員企業が持つ独自技術、プロダクトを紹介しビジネスマッチングを行う。

しかし、従来のように大規模に行ってもあまりうまくいかないことから、各協会でお勧めする会員を2～3社に絞り、少数精鋭で会員交流を行う。今月末をめどに ANIA 事務局まで各協会お勧めの会員企業と概要を添付の書式に記入。記入欄の過不足は適宜修正。

③その他、各協会では情報があれば、ANIA 事務局まで連絡する。

5) 地域イノベーションパートナーシップ 九州大会: H21-1-26(月) 14:00～18:30 博多都ホテル

第一部 基調講演、事例紹介、支援施策の紹介

14:00～14:10 開会挨拶 九州経済産業局 橘高 公久氏、
九州地域イノベーションパートナーシップ準備協議会代表 平石 勝之氏

14:10～15:10 基調講演「IT を活用した、商店街とカード・物流・鉄道業界との連携、さらにエコ推進事業への進化発展」

合同会社 きょうと情報カードシステム 総務委員長
(四条繁栄会商店街振興組合 理事) 樋爪 保(ひずめ たもつ)氏

15:20～16:35 連携事例の紹介

- ①「北海道 IT イノベーション戦略としての取組み」
(社)北海道 IT 推進協会 専務理事 下館 繁良氏
- ②「近畿における人材キーワードとした事業連携事例」
関西電子情報産業共同組合 専務理事 青木 隆夫氏
- ③活性化する九州の組込みシステムへの取組み」

～ES-Kyusyu と九州の活動～

九州地域組込みシステム協議会 幹事 芦原 秀一氏

16:35～16:50 支援施策の紹介

経済産業省商務情報政策局 情報化人材室長 夏目建夫氏

16:50 閉会

第二部 情報交換会 17:00～18:30

6) 第2回九州地域イノベーションパートナーシップ準備協議会(1/26 開催) H21-1-26(月) 12:00～13:15

博多都ホテル 3階 桐の間、

参加者:九州地域イノベーションパートナーシップ準備協議会委員、九州経済産業局、事務局
IT とサービスによる「地域イノベーションパートナーシップ」の推進について

i) 地域と中小企業(サービス・製造)の IT 化と地域情報サービス産業の現状

- ・これまでの地域・中小企業の IT 化に向けた取組み
- ・地域情報サービス産業の現状
- ・地域 IT ヘンダーによる連携事例

【中部地域】

- ・中部 IT 経営応援隊 IT ヘンダーWG
- ・スイートバレーから広がる IT ものづくりネットワーク

【中国地域・四国地域】

- ・ひろしまオープン・ソース・ソフトウェア・コンソーシアム
- ・東北・四国 IT ビジネスマッチング

【九州地域・沖縄地域】

- ・九州地域組込みシステム協議会
- ・沖縄ソフトウェアセンター

【近畿地域】

- ・関西組込ソフト産業推進会議
- ・京都試作プラットフォーム

【関東地域】

- ・たま IT 戦略会議
- ・三鷹 ITC 事業者協会
- ・埼玉県情報サービス産業協会
- ・新潟県 IT 産業ネットワーク21

【東北地域】

- ・東北 IT クラスタイニシャティブ
- ・とうほく組込み産業クラスター

【北海道地域】

- ・旭川事業協同組合
- ・北海道情報システム産業協会

2)「地域イノベーションパートナーシップ」構想

- ・「地域イノベーションパートナーシップ」推進体制の構築
- ・「地域イノベーションパートナーシップ」の成果のイメージ
- ・地域 IT 化の自給自足体制を確立
- ・地域間協力による競争力強化
- ・「地域イノベーションパートナーシップ」の施策

3)「九州地域イノベーションパートナーシップの目指すもの

- ・地域の IT ユーザーと IT ベンダーの現状

【課題】大手 IT ユーザーの IT 活用は、大手 IT ベンダーがサポート。一方中堅・中小 IT ユーザーはサポートせず。加えて中小 IT ベンダーの知名度が低く、相談相手がいない。

この中堅・中小 IT ユーザーが施策のターゲット

- ・地域イノベーションパートナーシップの目指すもの
- ・IT ベンダー健在化:優秀ベンダー表彰、IT 版イエローページ等
- ・適正な評価:IT ベンダーの客観的評価指標を IPA にて作成(ITSSP?)
- ・IT ベンダー間連携:共同開発、人材育成、共同受注、共同出展

7)九州地区情報産業協会等連絡会議(1/27)報告 H21-1-27(火) 9:45~11:45

九州経済産業局 第2・3会議室

出席者:九州経済産業局:植木謙治課長、邊見 勝課長補佐、平川伸子係長、IT 経営応援隊:事務局 藤森慎太郎氏、柏木氏

福岡県:平石勝之会長、重松孝士事務局長、鹿児島県:新井秀一郎副会長、白石俊紀事務局長、佐賀県:浅川達夫会長、松尾佳憲事務局長、熊本県:野田照幸会長、前田浩事務局長、宮崎県:川崎友裕会長、二川眞一事務局長、大分県:森秀文会長、後藤宋平事務局長、長崎県:石橋洋志会長、岩永俊之事務局長

議題

世話人挨拶 FISA 平石会長

出席者紹介

講話(10:00~10:50)「経済産業省の情報政策」講師 九経局情報政策課 植木課長

情報交換(10:50~11:45)

今後の運営

8) 第3回九州地域イノベーションパートナーシップ準備協議会 H21-3-3(火) 14:00～16:00

博多都ホテル 3階 桐の間

出席者: 石橋会長、オブザーバー 岩永事務局長

参加者: 九州地域イノベーションパートナーシップ準備協議会委員、九州経済産業局、事務局、各県の自治体

議事次第:

- ①平成21年度九州地域イノベーションパートナーシップ事業方針及び事業(案)について
- ②意見交換 等

9) H21 年度キャリア助成金認定申請書の共同チェック(事後承認)

2/10 長崎会場で説明会実施された。Nisa 会員企業 34 社中 9 社欠席、25 社 29 人出席(内佐世保会場1、諫早会場1)

独立行政法人 雇用・能力開発機構は廃止され、職業能力開発業務は、独立行政法人 高齢・障害者雇用支援機構に移管される。その他の業務は、(独)勤労者退職金共済機構に移管。

職業能力開発促進センター(ホリテクセンター)都道府県が移管を希望すると、可能な限り移管。平成22年度末までを目途。H21年度については、従来通り。

- i) 認定申請の共同チェック: 3月12日(木)～21日(土)
- ii) 計算式搭載の電子フォーム: 2月22日に事務局で作成して、キャリア認定会員にメール(2/22)で配信済である。既に12社から回答が来ている。
- iii) 平成20年度後期の支給申請は、5/8(金)～5/18(月)を予定。

10) 長崎総合科学大学大学院新技術創成研究所 H21-2-28(土) 13:00～17:00

長崎総合科学大学シーサイドキャンパス 人間環境学部 1階211講義室

第6回学術フロンティアセンターシンポジウム「組込みソフトの現状と将来」～次世代自動車と医療への応用にむけて～Nisaも後援している。主催 総合科学大学院、長崎県

参加者: 不動技研(浜本理事)・システムファイブ(佐藤理事)・LSI(岡理事)、事務局

11) 平成20年度長崎県高度情報化推進協議会第3回幹事会開催 H21-3-2(月) 16:00～

県庁 本館2-A

- i) 次回総会および講演会骨子検討
- ii) KIAI研究会結果報告
- iii) 五島の調査研究事業進捗報告

12) 長野市ソフト産業協議会 長崎県の「長崎ITモデルの調査」(2/26.27)

石橋会長、岩永事務局長にて交流会へ出席。

長野市ソフト産業協議会

会長 北村 正博 (株)システックス代表取締役社長 <http://www.systex.co.jp/>

(長野商工会議所 副会頭) <http://www.nagano-cci.or.jp/>

副会長 青柳 和男 (株)ケイケンシステム代表取締役社長 <http://www.keiken.co.jp/>

賛助会員 塚田 博信

(長野商工会議所 中小企業相談所長 兼 指導部長(経営指導員))

<http://www.nagano-cci.or.jp/>

事務局員 斉藤 弘 (長野市 産業振興部 商工振興課 主査)

交流会 2/26 18:00～ 県庁下の永楽苑

出席者:長崎県 島村理事、今富係長ほか、Nisa 石橋会長、中野 OSVF 幹事長、井川常務(トウアイネット)、岩永事務局長

13)九州地域ICT産学官連携ポータルサイト(QRIPS)の休止

行政経費の見直しにより、運営の継続が困難。九州総合通信局 情報通信部 情報通信連携推進課

(12)第 12 回役員会 H21-3-27(金) 15:00～17:00 出島交流会館

役員以外の出席者:長崎県 佐々野主任主事

1)長崎県産業労働部の人事異動(佐々野主任主事)

産業労働部長 小島 明氏→上村 昌博氏
 政策監(雇用政策調整担当)田平 浩二氏(新任)
 新産業創造課 新産業支援班 班長 松村 重喜氏→森田 孝明氏

以下は長崎県職員録より調査

産業政策課 総括課長補佐 平田 修三氏→山下 三郎氏
 産業人材課 総括課長補佐 山下三郎氏→林田 則利氏
 公共訓練班 課長補佐 塚副 宏樹氏→笠山 浩昭氏、
 産業人材育成班 課長補佐 櫻木 祐宏氏→樋口 利秋氏、係長 村島 かおり氏→坪内 信子氏

係長 黒木 康弘氏→山下 辰弥氏

2)H21 年度新体制(石橋会長)

H21 年 7 月 1 日より事務局長として、4 月より研修担当予定の今坂 勝利 氏が就任する。その後、今坂氏の研修事業を現事務局長の岩永 俊之氏が担当する。研修事業のほか事務局業務の指導も実施する。

(参考:山本氏が 10 月から 3 月まで研修を担当していたが、他に就職が決まり退職した。)

3)H21 年度 研修について(報告;佐藤技術委員長)

- ・リーフレットを作成し、参加企業に郵送し、地道な活動をしていることをアピールする。
- ・まだ締め切りの期日になっていないが、現段階で年間の研修申し込みが少ない。
- ・リーフレットは 100 部まとめて作成する。

4)組織強化委員会報告(中尾委員長:)

役員会に中尾委員長が欠席のため、会長が変わって報告。
 組織強化委員会の検討会では、結論は出ず、次回の役員会前に引き続き討議する。
 また、会長から長崎工業会の例を挙げ、活発に活動している状況分析を行った。
 工業会では、大企業を含めて製造業を中心に県内の企業が参加している。
 長崎市が助成し商工会議所を事務局として活動を行っている。
 また、自社紹介で企業 PR 活動が活発に行われている。

5)平成 21 年度総会時の講演会 テーマと講師:下記承認

- ・開催日:H21-6-25 日(木)
- ・開催場所:ホテル セントビル長崎 講演時間:1 時間から 1 時間 30 分
- ・テーマ:例としてクラウドコンピュータ等
- ・講師: 案として会長から、富士通に問い合わせさせていただく。
- ・総会のときに会員企業の PR「わが社の一押し」のための企業紹介を行う方向で検討する。

6) H21 年度キャリア助成金認定申請書の共同チェック報告

- i) 認定申請の共同チェック: H21-3-12 日(木)～21 日(土)
- ii) 計算式搭載の電子フォーム: 事務局で作成して、キャリア認定会員にメール(2/22)で配信済。
- iii) 実施の結果報告: 19 社 3/21 に提出済み。
- iv) 平成 20 年度後期の支給申請は、5/8(金)～5/18(月) 予定。
- v) 雇用・能力開発機構の今後2年間
 職業能力開発業務は、独立行政法人 高齢・障害者雇用支援機構に移管される。
 その他の業務は、(独) 勤労者退職金共済機構に移管。

7) H20 年前期分支給実績報告

22 社、総額約 16,983,000 円助成金が、21 年 1 月中旬から 3 月中旬に支給された。
 総会決定により、その10%を事務局経費として、3/19 に請求書(振込み期限 3 月 27 日)を発信。

8) 来年度税理士顧問料を昨年と同様の請求

利益が出ているので、税金を納めることになる。
 税務申告と一般社団への移行準備の顧問料。

9) 委員長による積極的事業展開(H20 年度)の総括と H21 年度の企画、計画、実施法、スケジュールなど

下記の委員会で 21 年度の方針を次回までに検討いただく。

- i) 総務企画委員会(委員長: 石橋会長)
- ii) 技術委員会(委員長: 佐藤副会長)
- iii) 組織強化委員会(委員長: 中尾副会長)
- iv) 交流委員会(委員長: 浜本副会長)

10) 審議長崎県の電子県庁システムが和歌山県に決定: OSVFN 報告

11) 長崎市からの提案(稲田センター長)「長崎キャンプ 2009」(先端的 IT 研修)

- ・長崎キャンプ 2009(先端的プログラミング研修)
- ・NISA に協賛依頼あり。全国の学生を集めて地元企業が PR する。

12) さるく観光幕末編推進委員会の設値(石橋会長へ委員就任依頼)

- ・平成 19 年 4 月から「ながさきを歩こう」をキャッチフレーズに、まち歩き観光「長崎さるく」の定着に向け取り組んでいる。
- ・今年は、安政の開港 150 周年、2010 年には NHK 大河ドラマ「龍馬伝」の放送が予定されていることから、4 月 23 日から 11 月 30 日まで「長崎さるく幕末編」を開催し、長崎の幕末期に焦点を絞ったさるく観光を推進。
- ・そこで、NHK 大河ドラマ「龍馬伝」の放送に向けた取組みを官民一体となって推進するため、「さるく観光幕末編推進委員会」を設立し、これらの新しい取組みを全国に情報発信していきたい。
- ・「さるく観光幕末編推進委員会」委員就任を依頼。

13) 事業所等の事業継続計画(BCP)の周知パンフレット

平成 16 年の新潟県中越沖地震、平成 17 年の福岡県西方沖地震などそれまで想定されていなかった地域において、相次いで地震が発生したことから、長崎県では「長崎県地震等防災対策アクションプラン」を策定し、事業所等の事業継続計画(BCP)の策定推進、事業所における防災対策の

点検などに取り組んでおり、このたび、事業所等の事業継続計画(BCP)のパンフレットを作成。
また、災害発生時の情報共有化のため、連絡体制を整備が必要。

14) 経営環境悪化に対する NISA の対策(フリーデスカス)

景気の急激な減速から受注確保の視点から NISA としてどのような活動、対策を立案するか？

- ・会員向けに雇用調整助成金や日本政策金融公庫からの融資説明会を開催。
- ・協会のパワー(技術・人)を再チェックし行政にぶつけていく。
- ・官との連携、学との連携。
- ・地域を越えた連携・パートナーシップが重要。
- ・県のIT系予算:年予算の把握。
- ・長期的な観点から異業種との交流。
- ・製造から利用へと転換必要。ASP、Saas
- ・Web系、携帯動画サービスなどの個人相手は落ちていない。
- ・農業とITの事例、情報交換を密にするのがいいのでは
- ・ビジネスマッチングは広くアピールではなく、「ここなら」「これなら」というマッチングが重要。
- ・2次補正で全国の中小企業団体組織に補助金を出す仕組みがある。
- ・生産性を向上が重要。
- ・ITマーケティングリーダー(観光、物産、流通、など)の養成。
- ・既存システムの入替は無理だが、既存システムに付加するものなら売れる。
- ・実態を正しくつかむ、らしいはダメ。協会会員企業の正確な経営状況の把握
- ・会員の刈りとなる事業の拡大。
- ・3ヶ年ビジョンに基づいて官とのコミュニケーション。

15) インIT視察について(時期、要望等の確認)

退官された長崎大学黒田先生がベトナムで教鞭をとられるので、ベトナム訪問はどうか？

16) コロナ会の開催の方向付け

役員会のあと、隔月、原則奇数月に実施することで、前回決定したが、そのとき、会社 PR「我が社の一押し」を実施する。